BUG SST

PitTouch® Biz

ピットタッチ・ビズ

設定マニュアル

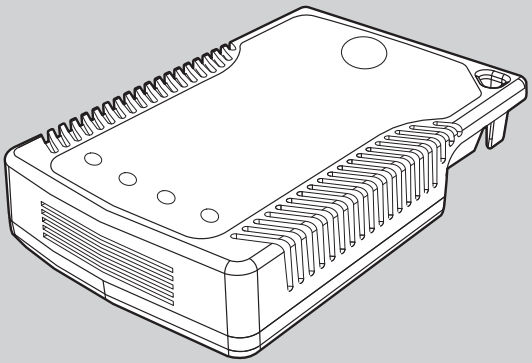
はじめに 1

ケータイアクセスモード編 2

サーバアクセスモード編 3

その他の設定 / 管理 4

付録 5



株式会社ビー・ユー・ジー SST

安全にお使いいただくために必ずお読みください

このマニュアルには、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本製品使用中での不具合または使用条件外での使用によるデータ損失や機会損失などの補償については、当社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

本書を紛失または損傷したときは、お買い求めになった販売元へお問い合わせください。

本書中のマーク説明

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
! 重要	本製品をお使いいただくうえで重要な事項を記載しています。
MEMO	操作の参考となる情報や、補足説明を記載しています。

■設定マニュアルの内容について

本書は「ピットタッチ・ビズ」の設定方法について説明したものです。
「ピットタッチ・ビズ取扱説明書」もあわせてお読みください。
携帯電話、パソコン自体の取り扱いや操作方法については、それぞれの取扱説明書をお読みください。

■商標などについてのお知らせ

「ピットタッチ」「ピットタッチ・ビズ」は、株式会社ビー・ユー・ジー SST の登録商標です。
「FeliCa」は、ソニー株式会社が開発した非接触 IC カードの技術方式です。
「FeliCa」は、ソニー株式会社の登録商標です。
「MIFARE」は、NXP セミコンダクターズの登録商標です。
「おサイフケータイ」「トルカ」は、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモの登録商標です。
「au」は、KDDI 株式会社の登録商標です。
「SoftBank」は、日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標です。
「WILLCOM」は株式会社ウィルコムの登録商標です。
JavaScript™ は、米国 Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
その他の商品名、会社名は、各社の商標または登録商標です。

もくじ

安全にお使いいただくために必ずお読みください…… 2
ご使用にあたってのお願い…… 5

第 1 章 はじめに

1-1 機能の概要 …… 8

第 2 章 ケータイアクセスモード編

2-1 ケータイアクセスモードの概要 …… 13
2-2 本製品の設定 …… 15
2-3 トルカを配布するには …… 20
2-4 ブラウザを起動させる（ホームページを簡単に紹介、見てもらう）には …… 22
2-5 メーラを起動させる（メールを簡単に送ってもらう）には …… 24
2-6 アプリケーションを起動させるには …… 26
2-7 音声 / ランプを変更するには …… 28
2-8 本製品の運用方法 …… 29

第 3 章 サーバアクセスモード編

3-1 サーバアクセスモードの概要 …… 30
3-2 本製品の設定 …… 32
3-3 本製品の運用方法 …… 49

第 4 章 その他の設定 / 管理

4-1 本製品をネットワークに接続するには …… 51
4-2 ハートビート通信機能について …… 52
4-3 ピットタッチ検索設定 …… 53
4-4 設定を確認するには …… 54
4-5 モードを切り替えるには …… 56
4-6 設定をファイルに保存 / 保存した設定を再設定するには …… 58
4-7 本製品のネットワーク状況を確認するには …… 60
4-8 本製品のログを確認するには …… 61
4-9 本製品の検出ログを確認するには …… 62
4-10 パスワードを変更するには …… 65
4-11 時刻を設定するには …… 66
4-12 音声ファイルについて …… 67
4-13 ステータス / ランプについて …… 71
4-14 ランプパターンについて …… 74

4-15 DIP スイッチの設定について……76
4-16 初期化するには……77
4-17 本製品のファームウェアを更新するには……79

第 5 章 付録

5-1 メインテナンス起動について ……81
5-2 再送機能について ……83
5-3 代理応答について ……87
5-4 トラブルシュート ……88
5-5 用語集 ……96
5-6 使用しているソフトウェアについて ……98

ご使用にあたってのお願い

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

●ご使用の際は取扱説明書に従って正しく取り扱いください。
●本製品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
●本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や、万一、本製品に登録された情報内容が消失してしまうこと等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本製品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管してください。
●本製品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。
●本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
●本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お買い求めになった販売元へお問い合わせください。
●このソフトウェアおよび仕様、外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。

⚠警告

・ 本製品は電波を使用した RFID 機器の読み取り・書き込み装置です。そのため使用する用途・場所によっては、医療機器に影響を与える恐れがあります。植込み型医療機器を装着されている方は、装着部位を RFID アンテナ部（非接触 IC 読み取り部）より 22cm 以上離してご使用ください。

⚠注意

・ 煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災･感電の原因になります。本製品の AC アダプタをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してからお買い求めになった販売元へお問い合わせください。お客様による修理は大変危険ですから､絶対におやめください。
・ 本製品を分解したり、改造したりしないでください。発熱・火災・感電・故障の原因になります。

・誤って本製品を落下させたり、強い衝撃を与えた場合、内部の部品が外れる可能性があります。本製品を振ってカタカタという音がしたとき、あるいは本製品の動作が不安定なときは、本製品のACアダプタをコンセントから抜き、お買い求めになった販売元へお問い合わせください。そのまま使用すると、火災・故障の原因になります。
・本製品の内部に水などが入った場合は、まず本製品のACアダプタをコンセントから抜いて、お買い求めになった販売元へお問い合わせください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
・本製品の開口部をふさがないでください。発熱などにより、火災・故障の原因になります。
・本製品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり本製品の内部に入った場合、火災・感電・故障の原因になります。
・ACアダプタを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、きつく束ねたりしないでください。また重いものを載せたり、加熱したりするとACアダプタが破損し、火災・感電・故障の原因になります。ACアダプタが傷んだら、お買い求めになった販売元へお問い合わせください。
・ぬれた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電・故障の原因になります。
・本製品が薬品や有害ガスに触れないようにしてください。腐食する恐れがあります。また、本製品に有害な物質が付着することになり、人体に害をおよぼす恐れがあります。
・AC100Vの家庭用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電・故障の原因になります。
・ACアダプタは本製品付属のものをお使いください。付属品以外をご使用になると、故障の原因となることがあります。
・電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。
・ランプ用シールを飲み込んだりしないようにご注意ください。特に小さいお子様のいる家庭ではご注意ください。けがの原因となることがあります。

◎設置場所

・屋外での使用は、故障の原因になります。屋内でご使用ください。また、直射日光のあたるところや、湿度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。
・冷暖房機器の近くや、通風口からの風があたるところに置かないでください。火災や故障の原因となることがあります。
・極端な高温または低温は、故障の原因になります。通常の室温（0～40℃）でご使用ください。
・結露するような場所で使用しないでください。温度差の激しい環境を急に移動した場合、本製品は結露する恐れがありますのでご注意ください。故障の原因になります。結露した場合、本製品を乾燥させるか、長い時間同じ環境に置いて結露を解消したあと、ご利用ください。
・ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因になります。
・調理台のそばなど油飛びや湯気の当たるような場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因になります。
・ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本製品の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
・動作中は内部の温度が上がり、本製品の外側も熱くなるため、他の装置等の上に本製品を重ねて設置しないでください。また、ビニール製のものなどを本製品のそばに置かないでください。変色・変形の原因になります。
・ガス腐食等を伴う環境（塩・酸・アルカリ等）には置かないでください。故障の原因になります。

・ 強い磁場を伴う環境には置かないでください。故障の原因になります。
・ 各ケーブルは所定のコネクタに接続してください。接続を誤ると、故障の原因になります。
・ 本製品やケーブルが人体などと接触するような場所に置かないでください。ケーブルの切断の原因や、落下による本製品の故障の原因になります。
・ 高圧線や通信用アンテナのそばでは、正しく通信できないことがあります。

◎お使いのとき

・ 本製品の小さな穴を含むすべての穴に、異物を挿入しないでください。感電・故障の原因になります。
・ AC アダプタを抜くときは、必ず AC アダプタ本体を持って、まっすぐに抜いてください。ケーブルを引っ張ると、断線・火災・感電の原因になります。
・ ケーブルを抜き差しするときは、接続機器の電源を切ってから行ってください。火災・感電・故障・事故の原因になります。
・ 近くに雷が発生したときは、AC アダプタをコンセントから抜き、すべてのケーブルを外して、ご使用をお控えください。ケーブルの接続や切断、または製品の導入や保守の作業も行わないでください。雷によって、火災・感電の原因となることがあります。
・ 本製品の外装汚れがひどいときには、水で薄めた中性洗剤に軟らかい布を浸し、よくしぼってから拭き取り、さらに乾いた布で拭いてください。シンナー、ベンジンなどの揮発油・アルコールなどを使用した場合、シートおよびプラスチック等を傷める原因となることがあります。
・ 本製品に乗らないでください。特に小さなお子様のいる家庭ではご注意ください。本製品が壊れて、けがの原因となることがあります。
・ ステータス切り替えボタン、DIP スイッチを無理に強く操作しないでください。破損や故障の原因となることがあります。
・ 本製品の AC アダプタを抜いたあと、再度 AC アダプタを接続する場合には、10 秒以上待ってください。瞬時に AC アダプタを差すと、正常に本製品が動作しない場合があります。
・ 日本国以外で使用しないでください。本製品は、日本国内での使用を目的に設計・製造されています。したがって、日本国外で使用された場合、本製品およびその他の機器を壊す恐れがあります。また、当該国の法令に抵触する場合があるので、使用できません。
・ 本製品の廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則に従ってください。

STOP お願い

・ 動作中に接続ケーブルなどが外れたり、接続が不安定になると、誤動作の原因になります。コネクタをしっかり接続し、動作中は、コネクタの接続部に触れないでください。
・ 本製品のそばに他のピットタッチ・ビズなどの非接触 IC カードリーダー / ライターやコードレス電話機、テレビなどの電子機器類を設置しないでください。電子機器類に雑音やノイズが発生したり、正常に動作しないことがあります。

第 1 章 はじめに
1-1 機能の概要

ここでは本製品の機能の概要について解説します。

■ 5 種類のモードがあります

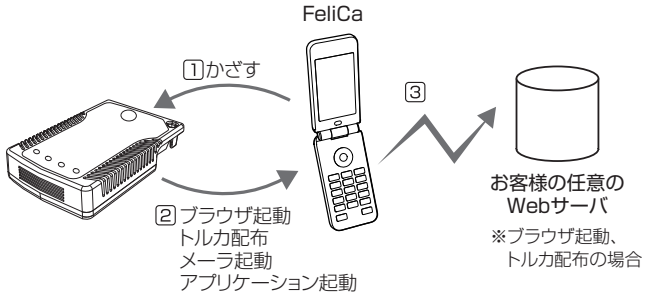
本製品は、5 種類のモード切り替えが可能です。ご希望の用途に合わせて、モードを選択してご利用ください。

モードの切り替えは「4-5 モードを切り替えるには」〈P.56〉を参照してください。

● ケータイアクセスモード

このモードは、おサイフケータイに対してブラウザ起動、メーラ起動、トルカ配布、アプリケーション起動を行う場合に使用します。パソコンやネットワークを必要とせず、本製品だけで利用できます。例えば、店頭に設置して、次のような利用ができます。

- ホームページ誘導
- クーポンの配布
- メール会員登録
- 専用アプリの起動



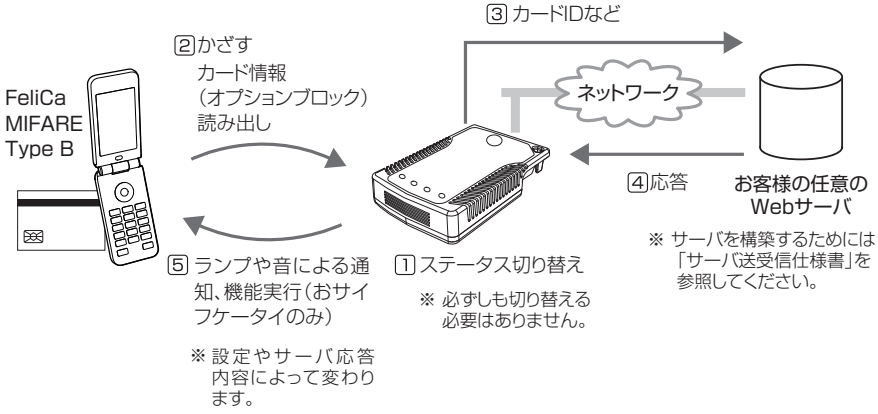
「第 2 章 ケータイアクセスモード編」〈P.13〉で解説しています。

●サーバアクセスモード

このモードは、ネットワーク接続とサーバの設置が必要です。非接触 IC カードやおサイフケータイを本製品にかざすと、カード ID、端末 ID、時刻、ステータスやカード内情報などをサーバに送信できます。

おサイフケータイを検出した場合は、サーバからの応答に従ってブラウザ起動などの機能を実行できます。例えば、次のような利用ができます。

- 勤怠 / 入退管理
- 機器ユーザ認証
- リアルタイムマーケティング



「第 3 章 サーバアクセスモード編」〈P.30〉で解説しています。

●ピットタッチサービス（ケータイ）モード

MEMO

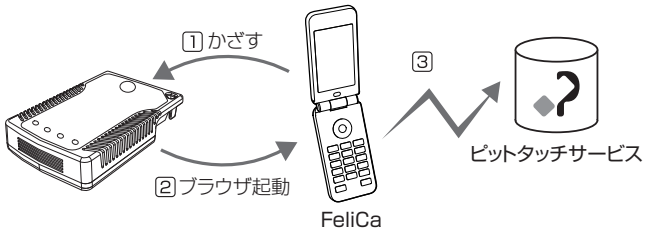
本サービスは終了しました。
このモードで設定してもサービスはご利用いただけません。

ピットタッチサービスのケータイサービス専用のモードです。ご利用には別途契約が必要です。

このモードは、おサイフケータイに対してピットタッチサービスにアクセスするためのブラウザ起動を行います（au の場合は au ケータイクーポンの配布を行います）。パソコンやネットワークを必要とせず、本製品だけで利用できます。

ピットタッチサービスは当社の ASP 型サービスです。おサイフケータイ対応の携帯電話を利用して、新規顧客獲得、顧客囲い込み、集客力向上等に貢献する様々な店舗支援向け機能を提供することができます。例えば、次のような利用ができます。

- ポイントサービス
- 抽選サービス
- 誘導先ケータイサイトのスケジューリング



●ピットタッチサービス（簡易打刻）モード

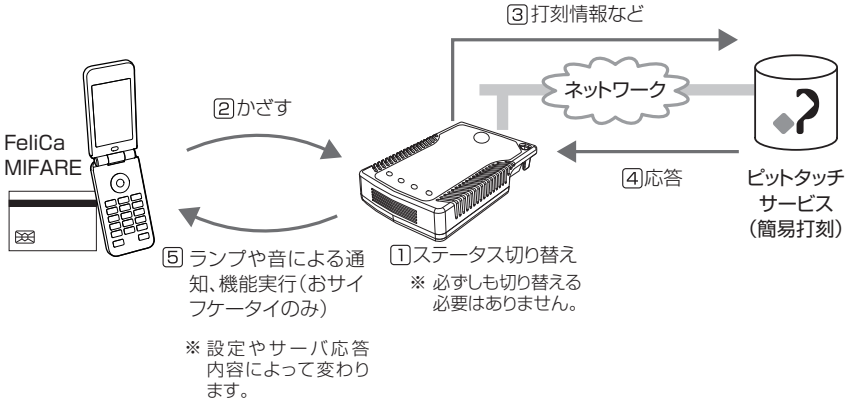
MEMO

本サービスは終了しました。
このモードで設定してもサービスはご利用いただけません。

ピットタッチサービスの簡易打刻サービス専用のモードです。ご利用には別途契約が必要です。

このモードは、ネットワーク接続が必要です。非接触 IC カードやおサイフケータイを本製品にかざすと、ネットワークを経由してピットタッチサービスの簡易打刻サーバにタッチ情報を通知します。お客様でサーバを用意する必要はありません。

ステータス切り替えボタンを押すことにより、拡張ステータスを含めた 8 つのステータスを切り替えて通知できます。それぞれのステータスに「出勤」「退勤」「外出」などを割り当てることが可能です。



●ピットタッチサービス（ネットワーク）モード

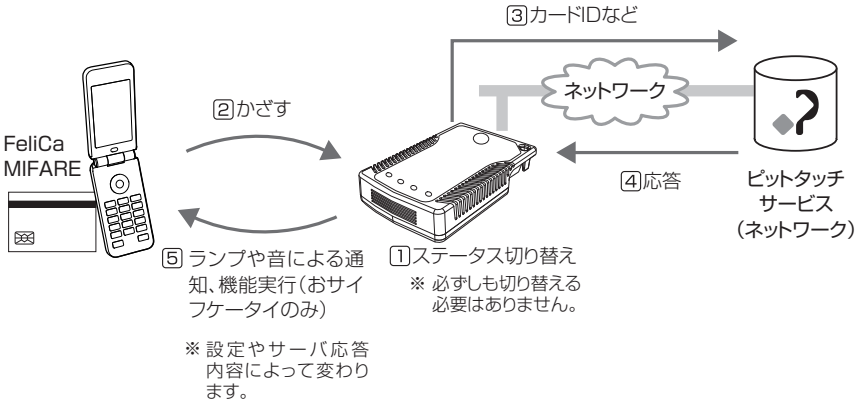
MEMO

本サービスは終了しました。
このモードで設定してもサービスはご利用いただけません。

ピットタッチサービスのネットワークサービス専用のモードです。ご利用には別途契約が必要です。

このモードは、ネットワーク接続が必要です。非接触 IC カードやおサイフケータイを本製品にかざすと、ネットワークを経由してピットタッチサービスのネットワークサービスサーバにタッチ情報を通知します。お客様でサーバを用意する必要はありません。

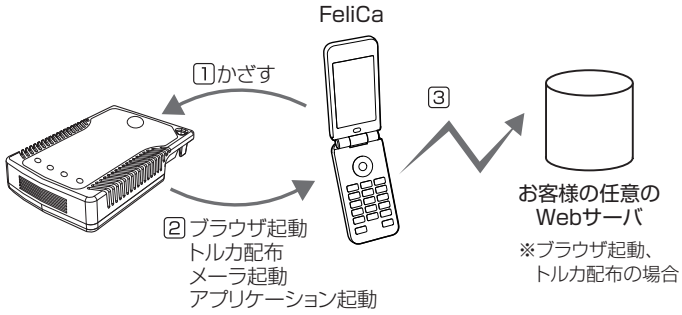
ステータス切り替えボタンを押すことにより、拡張ステータスを含めた 8 つのステータスを切り替えて通知できます。



第２章 ケータイアクセスモード編
2-1 ケータイアクセスモードの概要

このモードは、おサイフケータイに対してブラウザ起動、メーラ起動、トルカ配布、アプリケーション起動を行う場合に使用します。パソコンやネットワークを必要とせず、本製品だけで利用できます。例えば、店頭に設置して、次のような利用ができます。

- ホームページ誘導
- クーポンの配布
- メール会員登録
- 専用アプリの起動



NTT ドコモのおサイフケータイと、au/SoftBank/WILLCOM のおサイフケータイとでは、利用できる機能が異なります。

キャリア	対応機能	トルカ配布	ブラウザ起動	メーラ起動	アプリケーション起動
NTT ドコモ	トルカ対応 おサイフケータイ	トルカ配布	ブラウザ起動	※１	アプリケーション起動
au	au ケータイクーポン対応 おサイフケータイ	※１	au ケータイ クーポン配布	メーラ起動	※２
	上記以外 おサイフケータイ	※１	ブラウザ起動	メーラ起動	※２
SoftBank	おサイフケータイ	※１	ブラウザ起動	メーラ起動	※２
WILLCOM	おサイフケータイ	※１	ブラウザ起動	メーラ起動	※２

※１　おサイフケータイに機能が搭載されていないため、使用できません。

※２　本製品では未対応です。

本製品では NTT ドコモと au/SoftBank/WILLCOM とで、使用する機能をそれぞれ設定できます。

例えば、次のような設定が可能です。

- NTT ドコモ：トルカ配布、 au/SoftBank/WILLCOM：ブラウザ起動

■各機能の利用方法

●トルカ配布

NTT ドコモ

おサイフケータイを本製品にかざすことで、トルカが配布されます。例えば、お店のお得な情報を、おサイフケータイに送ることができます。

※ トルカ詳細とその URL は、別途ご用意ください。

「2-3 トルカを配布するには」〈P.20〉

●ブラウザ起動（ホームページを簡単に紹介、見てもらう）

NTT ドコモ　au/SoftBank/WILLCOM

おサイフケータイを本製品にかざすことで、ブラウザを起動できます。例えば、お店のホームページを簡単に紹介し、見てもらうことができます。

※ ホームページは別途ご用意ください。

「2-4 ブラウザを起動させる（ホームページを簡単に紹介、見てもらう）には」〈P.22〉

●メーラ起動（メールを簡単に送付してもらう）

au/SoftBank/WILLCOM

おサイフケータイを本製品にかざすことで、メーラを起動できます。例えば、会員登録のためのメールを簡単に送付してもらうことができます。

「2-5 メーラを起動させる（メールを簡単に送ってもらう）には」〈P.24〉

●アプリケーション起動

NTT ドコモ

おサイフケータイを本製品にかざすことで、おサイフケータイに搭載のアプリケーションを起動できます。例えば、クーポンを利用するためのアプリケーションを自動的に起動できます。

「2-6 アプリケーションを起動させるには」〈P.26〉

2-2 本製品の設定

本製品とパソコンを接続し、Web ブラウザから本製品の設定を行う方法の概要を解説します。

対応 OS、ブラウザについて

本製品は、OS：Windows Vista Business、ブラウザ：Microsoft Internet Explorer 8.0 の組み合わせで動作確認をしています。その他の組み合わせについては動作の保証ができませんので、ご了承ください。

Windows Vista Business で表示できる文字のうち、本製品に設定できない文字列があります。

設定画面では、JavaScript を使用しています。設定の際は、ブラウザの JavaScript 機能を ON にしてください。

■パソコンの準備

本製品と通信できるように、パソコンのネットワークの設定を一時的に変更します。

重 要

すでにインターネットや LAN に接続しているパソコンの場合、IP アドレスの設定を変更すると、次回から正しく接続できなくなります。
本製品の設定が終了したら、必ずもとの設定に戻してください。
IP アドレスを変更する前に、現在設定されている内容をメモしておくことをお勧めします。

1. ［コントロールパネル］の中から［ネットワークとインターネット］の［ネットワーク状態とタスクの表示］を選択します。

※ ここでは、Windows Vista で、コントロールパネルの表示方法を「コントロールパネルホーム」に設定している場合で解説しています。コントロールパネルの表示方法を「クラシック表示」に切り替えている場合は項目名の表示が異なります。コントロールパネル画面左側に表示されている「コントロールパネルホーム」をクリックしてから、操作してください。

2. ［ネットワークと共有センター］の画面が表示されます。
画面左側のタスクから［ネットワーク接続の管理］を選択します。

3. 「ローカル エリア接続」のアイコンを右クリックします。
表示されたメニューから［プロパティ］を選択します。

4. ［ユーザーアカウント制御］の画面が表示された場合は、［続行］ボタンをクリックします。

5. ［ローカル エリア接続のプロパティ］の［ネットワーク］タブの画面が表示されます。
［インターネットプロトコル バージョン 4（TCP/IPv4）］を選択し、［プロパティ］ボタンをクリックします。

6. [次の IP アドレスを使う] をクリックし、[IP アドレス] に「192.168.1.1」、[サブネットマスク] に「255.255.255.0」と入力します。

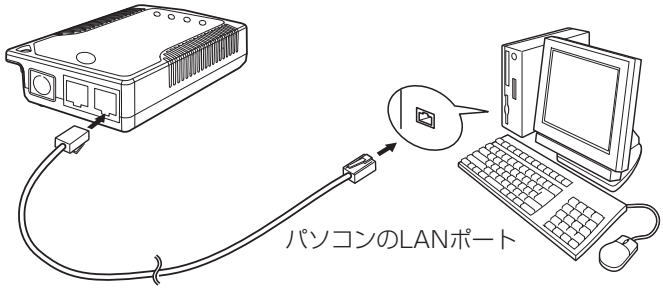
※ IP アドレスは、「192.168.1.」までは固定です。末尾の番号は 0 と 2 以外の数値を入力できます。IP アドレスについてよく分からない方は、ネットワーク管理者に問い合わせるか、「192.168.1.1」と入力してください。

7. [OK] ボタンをクリックします。

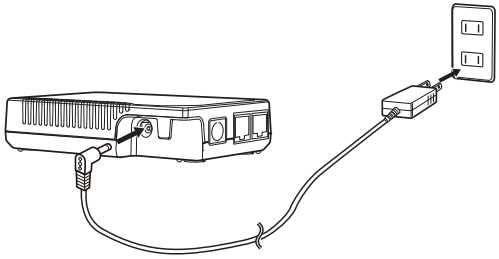
※ Windows のバージョンによってはパソコンを再起動する必要があります。Windows が表示するメッセージに従ってください。

■本製品の接続

1. 下図を参照して、本製品とパソコンを LAN ケーブルで接続します。
LAN ポートのどちらに接続しても構いません。



2. 下図を参照して AC アダプタを接続し、電源プラグをコンセントに差し込みます。
しばらくすると、本製品が起動します。



重 要

本製品に付属の AC アダプタをお使いください。別の AC アダプタを使用すると、故障の原因となります。

MEMO

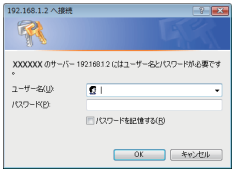
必ず DIP スイッチの状態を確認してください。DIP スイッチの設定によっては IP アドレスが固定の IP アドレスになる場合があります。〈P.76 〉

■設定ページを開くには

Microsoft Internet Explorer から、本製品の内部に収録されている設定ページを開いて、必要な設定を行います。

1. Web ブラウザを起動します。

2. アドレス入力欄に、「http://192.168.1.2/」と入力します。
次のダイアログが表示されます。

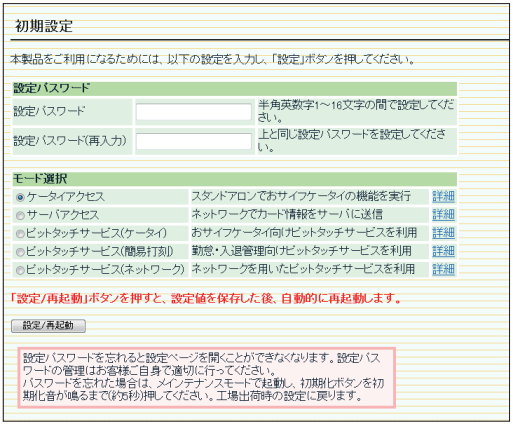


3. [ユーザー名] に [admin]、[パスワード] に [default] と入力します。

※「default」は工場出荷時に設定されているパスワードです。設定ページのパスワードを変更した場合は、そのパスワードを入力してください。ユーザー名は変更できません。詳しくは「4-10 パスワードを変更するには」〈P.65〉を参照してください。

4. パスワードとモードの設定画面が開きます。

※ すでにパスワードを変更している場合は、表示されません。



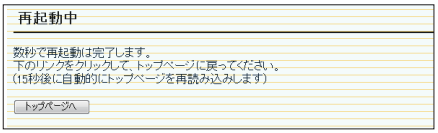
▼ 設定パスワード

設定パスワード	設定パスワードを半角英数字 1 ～ 16 文字で入力します。 ※［default］以外のパスワードを入力してください。
設定パスワード (再入力)	［設定パスワード］に入力したパスワードをもう一度入力します。
モード選択	用途に応じたモードを選択します。 ここでは［ケータイアクセス］を選択します。

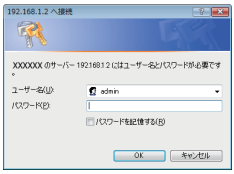
重 要

パスワードは適切に管理してください。
パスワードを忘れた場合は、本製品にアクセスできなくなります。その場合は、初期化することにより工場出荷時のパスワードに戻すことができます。〈P.77 〉

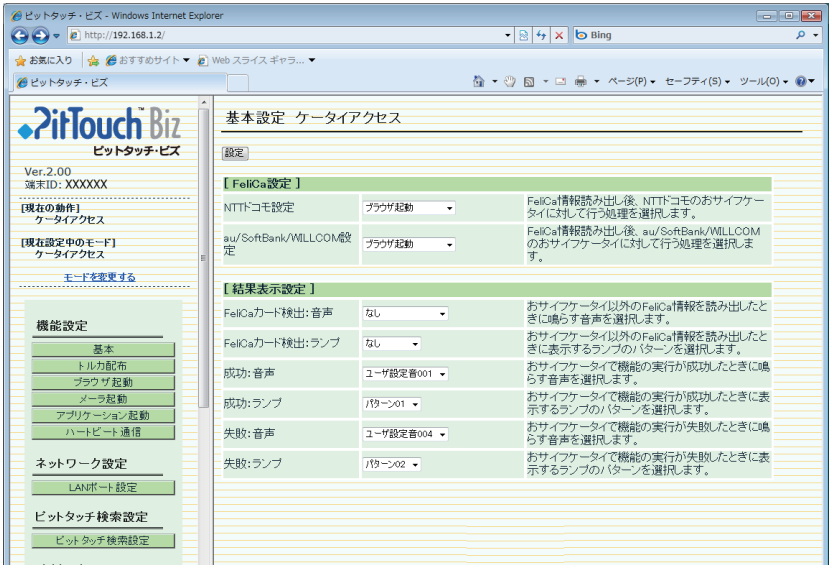
5. 設定した内容を保存するために、［設定 / 再起動］ボタンをクリックします。
［再起動中］画面が開きます。



6. 約 15 秒後、次のダイアログが表示されます。
［ユーザー名］に［admin］、［パスワード］に設定したパスワードを入力します。



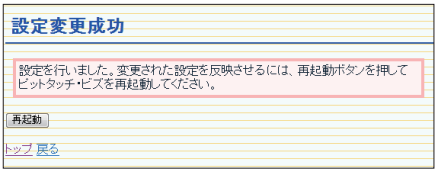
7. ケータイアクセスモードの設定ページが開きます。
以降、設定ページ左側のメニューをクリックして、目的の機能の設定を行います。



MEMO

左フレームには端末 ID を表示します。
端末 ID とは本製品の端末ごとに割り当てられる固有な文字列です。端末を識別するために使用します。

8. 各画面で必要な設定を行ったら、設定した内容を保存にするために、その画面に表示されている［設定］ボタンをクリックします。



引き続き、ほかの画面で設定を行うときは「トップ」をクリックします。
設定を有効にするためには、［再起動］ボタンをクリックして、本製品を再起動します。
起動したら、変更した内容で本製品を利用できます。

MEMO

本製品の設定を行う場合に、パソコンの IP アドレスを変更したときは、パソコンの設定を必ずもとに戻さないと、インターネットに接続できないなど問題が発生することがあります。設定終了後は、必ずもとに戻してください。

ケータイアクセスモードの具体的な設定方法については、次ページ以降で解説します。他モードと共通の機能に関する設定は、「第 4 章 その他の設定 / 管理」〈P.51〉で解説しています。

2-3 トルカを配布するには

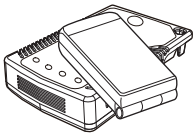
トルカを配布すると、例えば、お店のお得な情報をおサイフケータイに送ることができます。

※ トルカ配布を利用する場合、トルカ詳細のデータとその URL はお客様ご自身でご用意ください。

※ トルカに関するサポート・回答はできません。

■操作方法

1. 来店したお客様に、おサイフケータイを本製品にかざしてもらいます。



MEMO

おサイフケータイの電源がONになっていること、おサイフケータイのICカードロックが解除されていること、および、アプリケーションやブラウザ、メーラなどが起動していないことを最初に確認してください。おサイフケータイのFeliCaマークを、ピットタッチ・ビズの中心に当て、音が鳴るまでかざし続けてください。

※ DIPスイッチの状態や設定によっては音が鳴りません。

2. 来店したお客様のおサイフケータイに、トルカが配布されます。
お使いのおサイフケータイによっては表示が異なる場合があります。

■設定方法

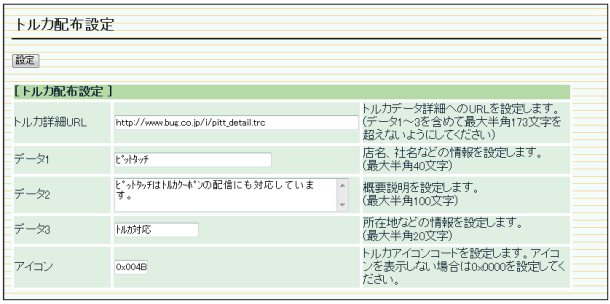
1. 設定ページ左側のメニューから［基本］ボタンをクリックします。

2. ［FeliCa 設定］の［NTT ドコモ設定］で「トルカ配布」を選択します。

※ この画面で、おサイフケータイに対する機能の実行が成功したときや失敗したときの音声を変更できます。詳しくは「2-7 音声 / ランプを変更するには」〈P.28〉を参照してください。

3. 設定した内容を保存するために、［設定］ボタンをクリックします。

4. 設定ページ左側のメニューから［トルカ配布］ボタンをクリックします。



▼ トルカ配布設定

トルカ詳細 URL	トルカデータ詳細への URL を入力します。（最大半角英数記号 173 文字。スペース、<>"{}|\^[]` は入力不可）
データ 1	店名や社名などの情報を入力します。（最大半角 40 文字）
データ 2	情報の概要説明を入力します。（最大半角 100 文字）
データ 3	所在地などの情報を入力します。（最大半角 20 文字）
アイコン	アイコンに対応するコードを入力します。 アイコンを表示しない場合は 0x0000 を入力してください。 ※ 対応するコードについてはトルカの情報 Web サイトに掲載されている仕様書をご確認ください。

※ トルカ詳細 URL、データ 1、データ 2、データ 3 の合計サイズは半角 173 文字までです。

5. 設定した内容を保存するために、［設定］ボタンをクリックします。
本製品を再起動すると設定が有効になります。

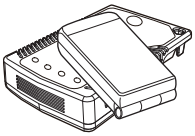
2-4 ブラウザを起動させる（ホームページを簡単に紹介、見てもらう）には

本製品に、来店したお客様のおサイフケータイをかざしてもらうと、おサイフケータイでブラウザを起動できます。
例えば、お店のホームページに簡単に誘導できます。また、au ケータイクーポン対応機種では、au ケータイクーポンを配布することができます。

※ ホームページは別途ご用意ください。

■操作方法

1. 来店したお客様に、おサイフケータイを本製品にかざしてもらいます。



MEMO

おサイフケータイの電源がONになっていること、おサイフケータイのICカードロックが解除されていること、および、アプリケーションやブラウザ、メーラなどが起動していないことを最初に確認してください。おサイフケータイのFeliCaマークを、ピットタッチ・ビズの中心に当て、音が鳴るまでかざし続けてください。
※ DIPスイッチの状態や設定によっては音が鳴りません。

2. 来店したお客様のおサイフケータイで、指定したホームページの URL が表示されます。

※ auケータイクーポン対応機以外のau/SoftBank/WILLCOMのおサイフケータイでは、指定した内容のメッセージポップアップが最初に表示されます。

キャリア	対応機能	動　作
NTTドコモ	ブラウザ起動対応 おサイフケータイ	ブラウザ起動
au	auケータイクーポン対応 おサイフケータイ	auケータイクーポン配布
	上記以外のおサイフケータイ	ブラウザ起動
SoftBank	おサイフケータイ	ブラウザ起動
WILLCOM	おサイフケータイ	ブラウザ起動

■設定方法

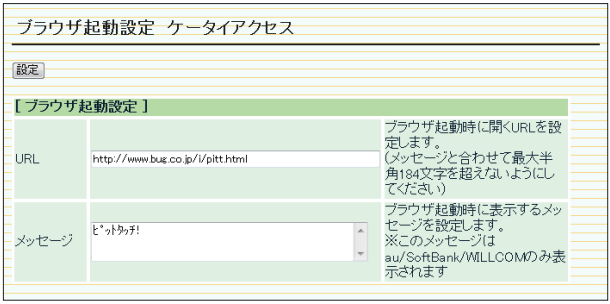
1. 設定ページ左側のメニューから［基本］ボタンをクリックします。

2. ［FeliCa 設定］の［NTT ドコモ設定］または［au/SoftBank/WILLCOM 設定］で「ブラウザ起動」を選択します。

※ この画面で、おサイフケータイに対する機能の実行が成功したときや失敗したときの音声を変更できます。詳しくは「2-7 音声 / ランプを変更するには」〈P.28〉を参照してください。

3. 設定した内容を保存するために、［設定］ボタンをクリックします。

4. 設定ページ左側のメニューから［ブラウザ起動］ボタンをクリックします。



▼ ブラウザ起動設定

URL	ブラウザで開く URL（お店のホームページのアドレスなど）を入力します。（最大半角英数記号 184 文字。スペース、<>"{}|\^[]` は入力不可）
メッセージ	ブラウザが開いたときに表示するメッセージの内容を入力します。（最大半角 184 文字） ※ このメッセージは au/SoftBank/WILLCOM のおサイフケータイで表示されます。au ケータイクーポン対応端末の場合、このメッセージがクーポンの内容になります。

※ URL、メッセージの合計サイズは半角 184 文字までです。

※ au ケータイクーポンの作成方法については、KDDI 株式会社の技術情報をご確認ください。（2009/11 現在）

http://www.au.kddi.com/ezfactory/tec/spec/keitai_coupon/index.html

5. 設定した内容を保存するために、［設定］ボタンをクリックします。
本製品を再起動すると設定が有効になります。

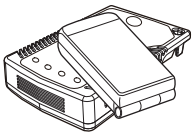
2-5 メーラを起動させる（メールを簡単に送ってもらう）には

本製品に、来店したお客様のおサイフケータイをかざしてもらうと、おサイフケータイでメーラを起動し、メールを簡単に送ってもらうことができます。例えば、お店のメールアドレスにメールを送り、お客様に会員登録手続きをしてもらいたいときに便利です。

※ メールアドレスは別途ご用意ください。

■操作方法

1. 来店したお客様に、おサイフケータイを本製品にかざしてもらいます。



MEMO

おサイフケータイの電源がONになっていること、おサイフケータイのICカードロックが解除されていること、および、アプリケーションやブラウザ、メーラなどが起動していないことを最初に確認してください。おサイフケータイのFeliCaマークを、ピットタッチ·ビズの中心に当て、音が鳴るまでかざし続けてください。

※ DIPスイッチの状態や設定によっては音が鳴りません。

2. 来店したお客様のおサイフケータイで、メーラが起動します。宛先やタイトルなどをあらかじめ指定できます。

■設定方法

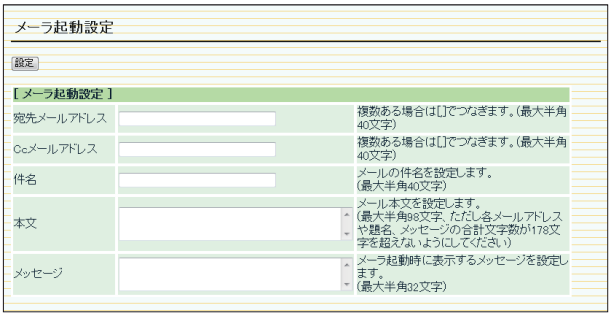
1. 設定ページ左側のメニューから［基本］ボタンをクリックします。

2. ［FeliCa 設定］の［au/SoftBank/WILLCOM 設定］で「メーラ起動」を選択します。

※ この画面で、おサイフケータイに対する機能の実行が成功したときや失敗したときの音声を変更できます。詳しくは「2-7 音声 / ランプを変更するには」〈P.28〉を参照してください。

3. 設定した内容を保存するために、［設定］ボタンをクリックします。

4. 設定ページ左側のメニューから［メーラ起動］ボタンをクリックします。



▼ メーラ起動設定

宛先メールアドレス	宛先メールアドレスを入力します。複数ある場合は、「,」でつなぎます。（最大半角 40 文字）
Cc メールアドレス	Cc メールアドレスを入力します。複数ある場合は、「,」でつなぎます。（最大半角 40 文字）
件名	メールの件名を入力します。（最大半角 40 文字）
本文	メールの本文を入力します。（最大半角 98 文字）
メッセージ	メーラが起動したときに表示するメッセージを入力します。（最大半角 32 文字）

※ 宛先メールアドレス、Cc メールアドレス、件名、本文、メッセージの合計サイズは半角 178 文字までです。

MEMO

WILLCOM では、以下のように制限があります（確認機種 WX340K、2009 年 12 月現在）。
・宛先メールアドレスは 1 件のみ指定してください。
・Cc メールアドレスは指定できません。

5. 設定した内容を保存するために、［設定］ボタンをクリックします。
本製品を再起動すると設定が有効になります。

2-6 アプリケーションを起動させるには

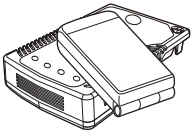
本製品に、来店したお客様のおサイフケータイをかざしてもらうと、おサイフケータイの特定のアプリケーションを起動させることができます。
例えば、クーポンを表示するアプリケーションを自動で起動すると、お客様は簡単にクーポンを利用できます。

※ アプリケーションは別途ご用意ください。

※ 事前にお客様のおサイフケータイにアプリケーションがインストールされている必要があります。

■操作方法

1. 来店したお客様に、おサイフケータイを本製品にかざしてもらいます。



MEMO

おサイフケータイの電源がONになっていること、おサイフケータイのICカードロックが解除されていること、および、アプリケーションやブラウザ、メーラなどが起動していないことを最初に確認してください。おサイフケータイのFeliCaマークを、ピットタッチ・ビズの中心に当て、音が鳴るまでかざし続けてください。

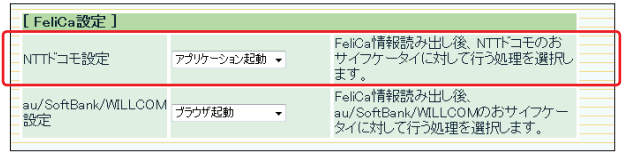
※ DIPスイッチの状態や設定によっては音が鳴りません。

2. 来店したお客様のおサイフケータイで、アプリケーションが起動します。

■設定方法

1. 設定ページ左側のメニューから［基本］ボタンをクリックします。

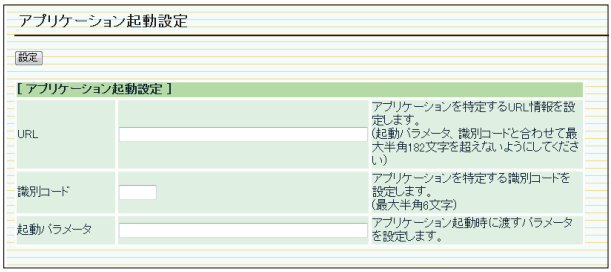
2. ［FeliCa 設定］の［NTT ドコモ設定］で「アプリケーション起動」を選択します。



※ この画面で、おサイフケータイに対する機能の実行が成功したときや失敗したときの音声を変更できます。詳しくは「2-7 音声 / ランプを変更するには」〈P.28〉を参照してください。

3. 設定した内容を保存するために、［設定］ボタンをクリックします。

4. 設定ページ左側のメニューから［アプリケーション起動］ボタンをクリックします。



▼ アプリケーション起動設定

URL	アプリケーションを特定する URL 情報を入力します。（最大半角記号 182 文字。スペース、<>"{}|\^[]` は入力不可）
識別コード	アプリケーションを特定する識別コードを入力します。（最大半角 6 文字）
起動パラメータ	アプリケーション起動時に渡すパラメータを入力します。（最大半角 182 文字）

※ URL、識別コード、起動パラメータの合計サイズは半角 182 文字までです。

※ URL、識別コード、起動パラメータについては、アプリケーションの開発元にお問い合わせください。

5. 設定した内容を保存するために、［設定］ボタンをクリックします。
本製品を再起動すると設定が有効になります。

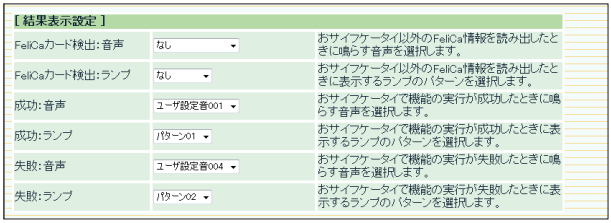
2-7 音声 / ランプを変更するには

機能を実行した際、成功か失敗かを知らせる音声 / ランプを変更できます。

■設定方法

1. 設定ページ左側のメニューから［基本］ボタンをクリックします。

2. 音声 / ランプに関する各項目を設定します。



▼ 結果表示設定

FeliCa カード検出：音声	おサイフケータイ以外の FeliCa 情報を読み出したときに鳴らす音声を選択します。 ※ 音声ファイルが登録されていない場合など、再生できない音声はグレー表示となります。
FeliCa カード検出：ランプ	おサイフケータイ以外の FeliCa 情報を読み出したときに表示するランプのパターンを選択します。
成功：音声	おサイフケータイで機能の実行が成功したときに鳴らす音声を選択します。 ※ 音声ファイルが登録されていない場合など、再生できない音声はグレー表示となります。
成功：ランプ	おサイフケータイで機能の実行が成功したときに表示するランプのパターンを選択します。
失敗：音声	おサイフケータイで機能の実行が失敗したときに鳴らす音声を選択します。 ※ 音声ファイルが登録されていない場合など、再生できない音声はグレー表示となります。
失敗：ランプ	おサイフケータイで機能の実行が失敗したときに表示するランプのパターンを選択します。

3. 設定した内容を保存するために、［設定］ボタンをクリックします。
本製品を再起動すると設定が有効になります。

2-8 本製品の運用方法

本製品の設定が終了したら、お店など本製品を設置したい場所に移動します。

1. コンセントから電源プラグを抜き、AC アダプタを外します。パソコンから設定を行ったときは、LAN ケーブルを外します。

2. 本製品を設置したい場所に運び、AC アダプタを取り付け、コンセントに電源プラグを差し込みます。

3. しばらくすると、本製品が起動し、運用を開始できます。

MEMO

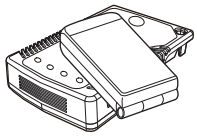
設置時には必ず DIP スイッチの設定を確認してください。〈P.76 〉

MEMO

運用する場合には、本製品に設定用のパソコンを接続する必要はありません。また、ネットワークに接続する必要もありません。

■本製品の利用

1. 本製品の非接触 IC 読み取り部に、おサイフケータイをかざします。



MEMO

おサイフケータイの電源がONになっていること、おサイフケータイのICカードロックが解除されていること、および、アプリケーションやブラウザ、メーラなどが起動していないことを最初に確認してください。おサイフケータイのFeliCaマークを、ピットタッチ・ビズの中心に当て、音が鳴るまでかざし続けてください。
※ DIPスイッチの状態や設定によっては音が鳴りません。

2. おサイフケータイのメーラや、ブラウザ、アプリケーションが起動したり、トルカ /au ケータイクーポンが取得できます。

重 要

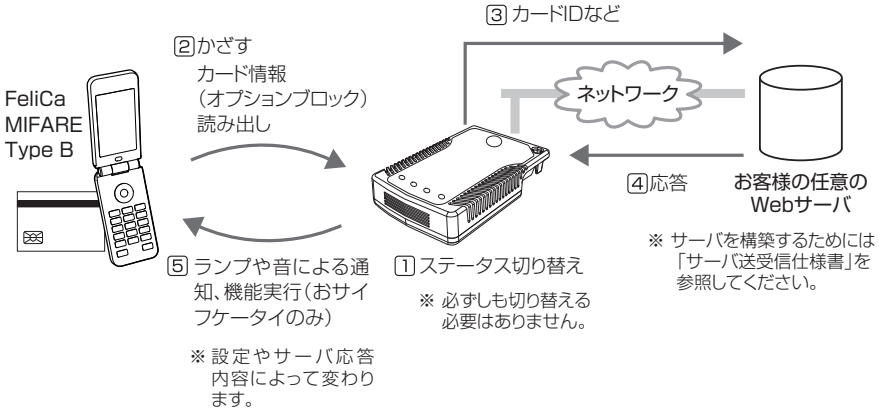
FeliCa の検出完了後、機能の実行が完了するまでには若干時間のかかる場合があります。そのため、FeliCa の検出後、すぐにおサイフケータイを本製品から離すと、正常に動作しないことがあります。

第 3 章 サーバアクセスモード編
3-1 サーバアクセスモードの概要

このモードは、ネットワーク接続とサーバの設置が必要です。非接触 IC カードやおサイフケータイを本製品にかざすと、カード ID、端末 ID、時刻、ステータスやカード内情報などをサーバに送信できます。

おサイフケータイを検出した場合は、サーバからの応答に従ってブラウザ起動などの機能を実行できます。例えば、次のような利用ができます。

- 勤怠 / 入退管理
- 機器ユーザ認証
- リアルタイムマーケティング



本製品が非接触 IC（FeliCa/MIFARE/Type B カードまたはおサイフケータイ）を検出し、カード ID を読み出すと、あらかじめ設定したサーバに対して、そのカード ID などの情報を HTTP 通信またはセキュア対応の HTTPS 通信で送信できます。

サーバは通知された情報をもとに返答を作成し、応答します。本製品はその応答によって、ランプの点灯や音声再生を行います。また、おサイフケータイの機能を実行させることもできます。

※ カード ID は、非接触 IC の種類によって異なります。FeliCa の場合は FeliCa ID、MIFARE の場合は UID、eLWISE(Type B) の場合は .Com-ID となります。

■用意していただくもの

以下のものが別途必要です。

● **非接触 IC（FeliCa/MIFARE/Type B カードまたはおサイフケータイ）**

● **管理用サーバ・ソフトウェア**

Web サーバとして動作するパソコン（サーバ）と、サーバ上で動作する本製品と通信するためのソフトウェアが必要です。

※ サーバは、お客様での用意が必要です。その場合は別途「サーバ送受信仕様書」が必要です。お買い求めになった販売元へお問い合わせください。

※ ソフトウェアは別途ご用意ください。

対応 OS、ブラウザについて

「第 2 章 ケータイアクセスモード編」の「対応 OS、ブラウザについて」〈P.15〉を参照してください。

■パソコンの準備

最初に本製品に内蔵されている設定ページを開くときは、パソコンと本製品を接続して、ネットワークへの導入に必要な設定を行ってください。

お買い上げ時に本製品に割り当てられている IP アドレスは、「192.168.1.2」です。

本製品と通信できるように、パソコンのネットワークの設定を一時的に変更します。

変更方法は、「第 2 章ケータイアクセスモード編」の「パソコンの準備」〈P.15〉を参照してください。

■パソコンと本製品を接続する

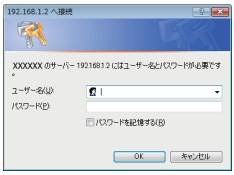
パソコンと本製品を接続します。接続方法は、「第 2 章ケータイアクセスモード編」の「本製品の接続」〈P.16〉を参照してください。

■設定ページを開くには

Microsoft Internet Explorer から、本製品の設定ページを開いて、必要な設定を行います。

1. Web ブラウザを起動します。

2. URL を入力する欄に、「http://192.168.1.2/」と入力します。
次のダイアログが表示されます。

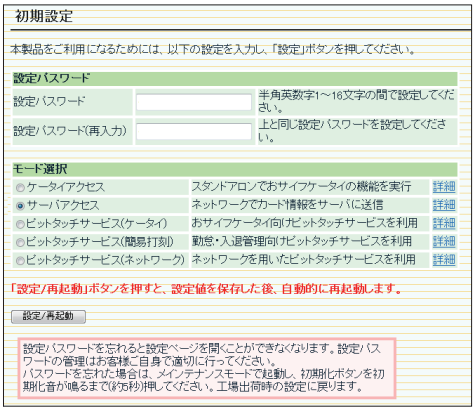


3. [ユーザー名] に [admin]、[パスワード] に [default] と入力します。

※「default」は工場出荷時に設定されているパスワードです。設定ページのパスワードを変更した場合は、そのパスワードを入力してください。ユーザー名は変更できません。詳しくは「4-10 パスワードを変更するには」〈P.65〉を参照してください。

4. パスワードの設定画面が開きます。

※ すでにパスワードを変更している場合は、表示されません。



▼ 設定パスワード

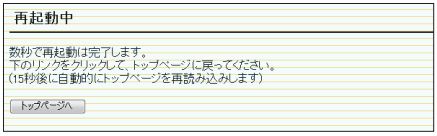
設定パスワード	設定パスワードを半角英数字 1 ～ 16 文字で入力します。 ※［default］以外のパスワードを入力してください。
設定パスワード（再入力）	［設定パスワード］に入力したパスワードをもう一度入力します。
モード選択	用途に応じたモードを選択します。 ここでは［サーバアクセス］を選択します。

重 要

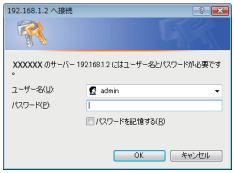
パスワードは適切に管理してください。
パスワードを忘れた場合は、本製品にアクセスできなくなります。その場合は、初期化することにより工場出荷時のパスワードに戻すことができます。〈P.77 〉

5. 設定した内容を保存するために、［設定 / 再起動］ボタンをクリックします。

［再起動中］画面が開きます。



6. 約 15 秒後、次のダイアログが表示されます。
［ユーザー名］に［admin］、［パスワード］に設定したパスワードを入力します。

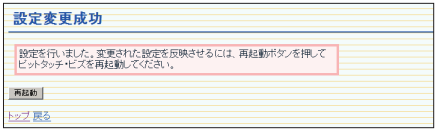


7. 設定ページが開きます。
以降、左側のメニューをクリックして、目的の機能の設定を行います。

MEMO

左フレームには端末 ID を表示します。
端末 ID とは本製品の端末ごとに割り当てられる固有な文字列です。端末を識別するために使用します。

8. 各画面で必要な設定を行ったら、設定した内容を保存にするために、その画面に表示されている［設定］ボタンをクリックします。



引き続き、ほかの画面で設定を行うときは「トップ」をクリックします。
設定を有効にするためには、［再起動］ボタンをクリックして、本製品を再起動します。
起動したら、変更した内容で本製品を利用できます。

MEMO

本製品の設定を行う場合に、パソコンの IP アドレスを変更したときは、パソコンの設定をもとに戻さないと、インターネットに接続できないなど問題が発生することがあります。設定終了後は、必ずもとに戻してください。

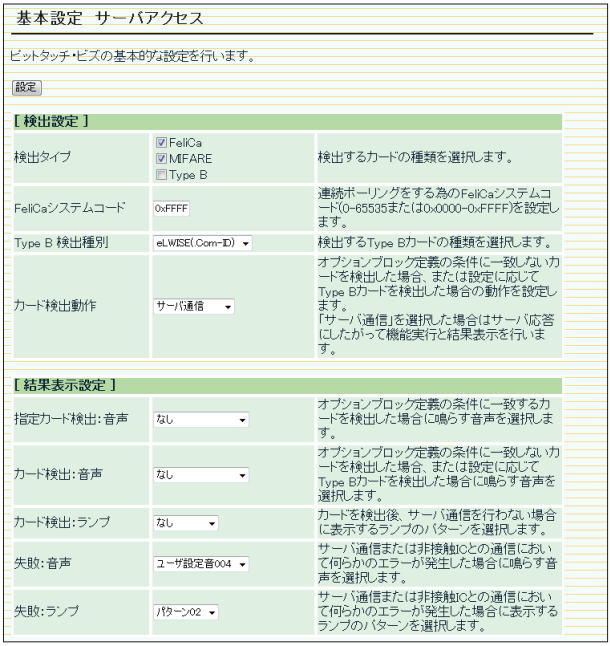
サーバアクセスモードの具体的な設定方法については、以下で解説します。
ネットワーク設定や管理については、「第 4 章 その他の設定 / 管理」〈P.51〉で解説しています。

■基本設定

基本設定では、本製品の基本的な設定を行います。

1. 設定ページ左側の［基本］ボタンをクリックします。
［基本設定］画面が開きます。

2. 必要な設定を行います。



▼ 検出設定

検出タイプ	検出するカードの種類を選択します。「FeliCa」「MIFARE」「Type B」から 1 つ以上選択します。複数選択できます。
FeliCa システムコード	特定の FeliCa カードを検出するための FeliCa システムコードを 0 ～ 65535 あるいは 0x0000 ～ 0xFFFF の範囲で設定します。FeliCa カードを特定しない場合は 0xFFFF と設定します。
Type B 検出種別	検出する Type B カードの種類を選択します。
カード検出動作	オプションブロック定義の条件に一致しないカードを検出した場合、または設定に応じて Type B カードを検出した場合の動作を設定します。「結果表示のみ」はサーバと通信を行わず、以下の「結果表示設定」に従い結果表示のみを行います。「サーバ通信」を選択した場合、サーバ応答に従って機能実行と音声再生、ランプ点灯を行います。

▼ 結果表示設定

本製品の音声やランプで、ユーザに検出結果を通知することができます。

指定カード検出：音声	オプションブロック定義の条件に一致するカードを検出した場合に鳴らす音声を選択します。 ※ 指定カードを検出した場合のランプは「非接触 IC 読み取り」のランプになります。〈P.72 〉 ※ 音声ファイルが登録されていない場合など、再生できない音声はグレー表示となります。
カード検出：音声	オプションブロック定義の条件に一致しないカードを検出したときに鳴らす音声を選択します。 ※ 音声ファイルが登録されていない場合など、再生できない音声はグレー表示となります。
カード検出：ランプ	カードを検出後、サーバ通信を行わない場合に表示するランプのパターンを選択します。
失敗：音声	サーバ通信または非接触 IC との通信において何らかのエラーが発生した場合に鳴らす音声を選択します。 ※ 音声ファイルが登録されていない場合など、再生できない音声はグレー表示となります。
失敗：ランプ	サーバ通信または非接触 IC との通信において何らかのエラーが発生した場合に 表示するランプのパターンを選択します。

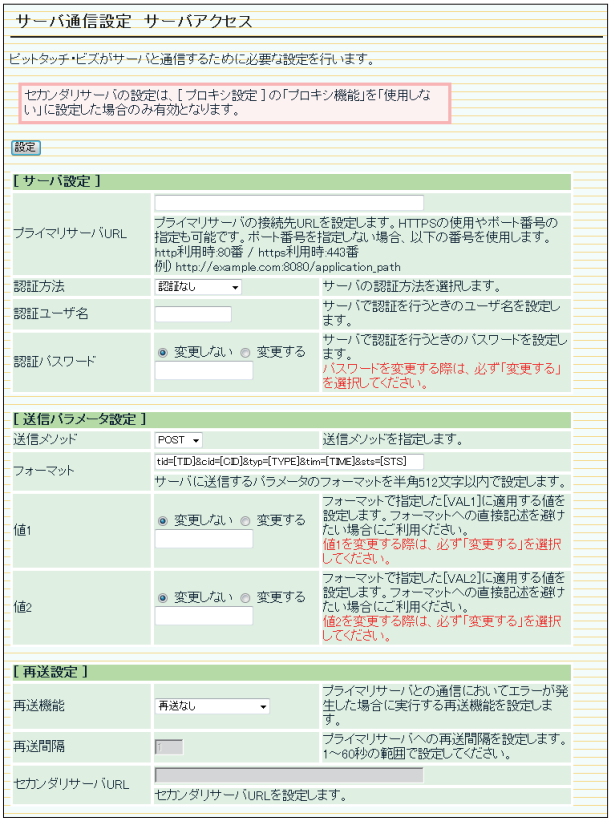
※ オプションブロック定義については、「オプションブロックについて」〈P.44〉で解説しています。

3. 設定を保存するために、［設定］ボタンをクリックします。
本製品を再起動すると設定が有効になります。

■サーバ通信設定

1. 設定ページ左側の［サーバ通信］ボタンをクリックします。
［サーバ通信設定］画面が開きます。

2. 必要な設定を行います。



▼ サーバ設定

プライマリサーバ URL　プライマリサーバの接続先 URL を設定します。HTTPS の使用やポート番号の指定も可能です。ポート番号を指定しない場合は、80 番を使用します。https 通信時は 443 を使用します。
例）ポート番号に 8080 を指定した場合
http://example.com:8080/application_path
プライマリサーバ URL には「?」を設定できません。
プライマリサーバ URL にクエリを付加する場合は［送信パラメータ設定］の［送信メソッド］を「GET」に設定し、［フォーマット］にクエリを設定してください。

認証方法	サーバで認証を行うときに設定します。サーバの認証方法を「自動」「認証なし」「ベーシック認証」「ダイジェスト認証」から選択します。
認証ユーザ名	サーバで認証を行うときのユーザ名を半角 32 文字以内で入力します。
認証パスワード	サーバで認証を行うときのパスワードを半角 32 文字以内で入力します。現在の設定値は表示されません。変更する場合は「変更する」を選択してください。

▼ 送信パラメータ設定

送信メソッド	送信メソッドを「POST」「GET」から選択します。 サーバ側の指定にあわせて設定してください。
フォーマット	サーバに送信するパラメータのフォーマットを半角 512 文字以内で設定します。 工場出荷時は、「tid=[TID]&cid=[CID]&typ=[TYPE]&tim=[TIME]&sts=[STS]」です。使用する各パラメータ（[TID] など）については、「サーバ送受信仕様書」を参照してください。
値 1	フォーマットで設定した [VAL1] に適用する値を設定します。 フォーマットへの直接記述を避けたい場合にご利用ください。 値 1 を変更する際は、必ず「変更する」を選択してください。 詳細は「サーバ送受信仕様書」を参照してください。
値 2	フォーマットで設定した [VAL2] に適用する値を設定します。 フォーマットへの直接記述を避けたい場合にご利用ください。 値 2 を変更する際は、必ず「変更する」を選択してください。 詳細は「サーバ送受信仕様書」を参照してください。

▼ 再送設定

再送機能	プライマリサーバとの通信においてエラーが発生した場合に実行する再送機能を設定します。「再送なし」「プライマリサーバへ再送」「セカンダリサーバへ送信」から選択します。
再送間隔	「再送機能」で「プライマリサーバへ再送」を選択した場合に、再送の間隔時間を設定します。1 ～ 60 秒の範囲で入力します。
セカンダリサーバ URL	「再送機能」で「セカンダリサーバへ再送」を選択した場合に、用いるセカンダリサーバ URL を設定します。プライマリサーバ URL と同じフォーマットで設定します。HTTPS の使用やポート番号の指定も可能です。ポート番号を指定しない場合は、http 通信時は 80 番、https 通信時は 443 番を使用します。

MEMO

「プライマリサーバ URL」「送信メソッド」「フォーマット」「値 1」「値 2」を変更した場合、検出ログを次回再起動時に消去するかどうかを選択できます。

MEMO

「再送設定」を変更すると、次回再起動時に検出ログを消去します。

MEMO

再送機能の動作については、「5-2 再送機能について」〈P.83〉を参照してください。

3. 設定を保存するために、［設定］ボタンをクリックします。
本製品を再起動すると設定が有効になります。

■サーバ通信設定（拡張）

1. 設定ページ左側の［サーバ通信設定（拡張）］ボタンをクリックします。
［サーバ通信設定（拡張）］画面が開きます。必要に応じて設定を行ってください。

2. 必要な設定を行います。

▼ サーバ設定

接続タイムアウト	接続タイムアウトの値を設定します。1 ～ 60 秒の範囲で入力します。工場出荷時は 10 秒です。 再送機能で「セカンダリサーバへ送信」を使用する場合、プライマリサーバから応答がないと接続タイムアウトで設定した時間後にセカンダリサーバへの通信が行われます。
受信タイムアウト	受信タイムアウトの値を設定します。1 ～ 60 秒の範囲で入力します。工場出荷時は 10 秒です。

未対応フォーマット応答受信	サーバから未対応フォーマット応答を受信した場合の動作を設定します。 「結果表示設定に従う」： 「基本設定」の「失敗：音声」「失敗：ランプ」に従って結果表示します。 「代理応答設定に従う」： 「サーバ通信設定（拡張）」の「代理応答設定」に従って結果表示します。

▼ 代理応答設定

音声：ステータス 1	ステータス 1 を選択中に代理応答を行う際に鳴らす音声を選択します。
音声：ステータス 2	ステータス 2 を選択中に代理応答を行う際に鳴らす音声を選択します。
音声：ステータス 3	ステータス 3 を選択中に代理応答を行う際に鳴らす音声を選択します。
音声：ステータス 4	ステータス 4 を選択中に代理応答を行う際に鳴らす音声を選択します。
音声：拡張ステータス 1	拡張ステータス 1 を選択中に代理応答を行う際に鳴らす音声を選択します。
音声：拡張ステータス 2	拡張ステータス 2 を選択中に代理応答を行う際に鳴らす音声を選択します。
音声：拡張ステータス 3	拡張ステータス 3 を選択中に代理応答を行う際に鳴らす音声を選択します。
音声：拡張ステータス 4	拡張ステータス 4 を選択中に代理応答を行う際に鳴らす音声を選択します。
ランプ：全ステータス共通	代理応答を行う際に表示するランプのパターンを選択します。

MEMO

代理応答とは、おサイフケータイやカードをかざしたときに、サーバから正しく応答が得られない状態でも設定された音声再生・ランプ点灯をする機能です。代理応答の動作については、「5-3 代理応答について」〈P.87〉を参照してください。
また、サーバから未対応フォーマット応答を受信した場合にも代理応答設定を使用します。詳細は「サーバ送受信仕様書」を参照してください。

▼ プロキシ設定

プロキシ機能	プロキシサーバを「使用しない」「使用する」から選択します。
サーバ名	プロキシサーバのホスト名または IP アドレスを設定します。ホスト名の場合は半角 128 文字以内で入力します。
ポート番号	プロキシサーバのポート番号を 1 ～ 65535 の範囲で入力します。工場出荷時は 8080 です。
認証方法	プロキシサーバの認証方法を「自動」「認証なし」「ベーシック認証」「ダイジェスト認証」から選択します。
認証ユーザ名	プロキシサーバで認証を行うときのユーザ名を入力します。
認証パスワード	プロキシサーバで認証を行うときのパスワードを半角 32 文字以内で入力します。現在の設定値は表示されません。変更する場合は「変更する」を選択してください。

3. 設定を保存するために、［設定］ボタンをクリックします。
本製品を再起動すると設定が有効になります。

■オプションブロック設定

オプションブロックに関する設定を行います。オプションブロック定義ファイルを登録している場合にこの設定を行うことができます。

● オプションブロックについて

オプションブロックとは、非接触 IC 内の任意の領域のことを指します。

オプションブロック設定を使用することで、非接触 IC 内の任意の領域（※）のデータを読み取り、サーバに通知できます。

※ FeliCa の場合は、非暗号化領域のみ読み取り可能です。

※ Type B カードでは、オプションブロック設定を使用してデータを読み出すことはできません。

※ 任意の領域がどこに記録されているか、非接触 IC 内のフォーマットを理解している必要があります。

MEMO

例えば、自社で発行した非接触 IC で、記述されている社員番号を読み取り、サーバに通知することで、勤怠・入退室管理・認証等に使用できます。

使用するには、任意の領域を指定するオプションブロック定義ファイルが必要です。

「オプションブロック利用マニュアル」についてはお買い求めになった販売元へお問い合わせください。

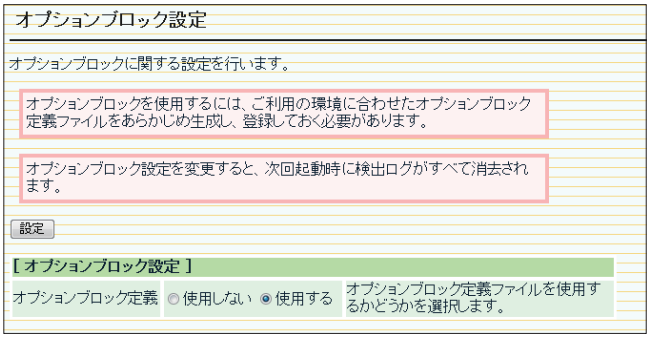
● オプションブロック設定

MEMO

オプションブロック定義ファイルが本製品に登録されていない場合、本設定は表示されません。オプションブロック定義ファイルを登録すると自動的に「使用する」に設定され、オプションブロック定義ファイルを削除すると自動的に「使用しない」に設定されます。
オプションブロック定義ファイルを登録したまま、「使用しない」に設定することでオプションブロック定義ファイルを使用しない運用に切り替えることができます。

1. 設定ページ左側の［オプションブロック］ボタンをクリックします。
［オプションブロック設定］画面が開きます。

2. 必要な設定を行います。



▼ オプションブロック設定

オプションブロック定義	オプションブロック定義ファイルを「使用しない」「使用する」から選択します。

MEMO

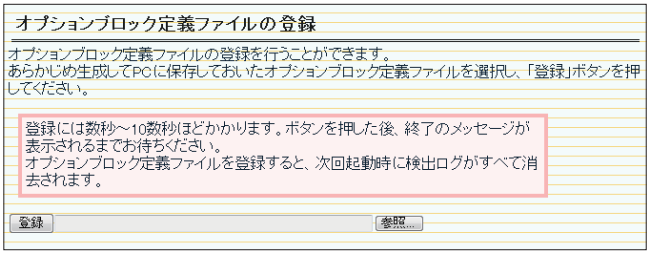
「オプションブロック定義」の設定はオプションブロック定義ファイルが登録されている状態でのみ変更できます。

3. 設定を保存するために、［設定］ボタンをクリックします。
本製品を再起動すると設定が有効になります。

● オプションブロック定義ファイルの登録

オプションブロック定義ファイルの登録を行うことができます。

1. パソコンに保存したオプションブロック定義ファイルを選択します。
［参照］ボタンをクリックします。［ファイルの選択］ダイアログが表示されるので、パソコンに保存したオプションブロック定義ファイルを選択し、［開く］ボタンをクリックします。



2. ［登録］ボタンをクリックします。
「オプションブロック定義ファイル更新成功」というメッセージが表示されます。
※ すでに登録されている場合は上書きされます。

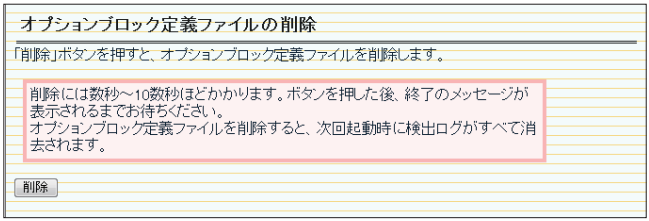
重 要

登録中に電源を切ったりすると、すべてのユーザ設定音、オプションブロック定義ファイルが壊れる可能性があります。その場合は、オプションブロック定義ファイルを登録し直してください。ユーザ設定音については、ピットタッチのホームページからダウンロードして、再度登録してください。

3. 登録完了後、本製品を再起動してください。

● オプションブロック定義ファイルの削除

1. 「削除」ボタンをクリックします。
オプションブロック定義ファイルを削除します。
※ オプションブロック定義ファイルが登録されていない場合は表示しません。



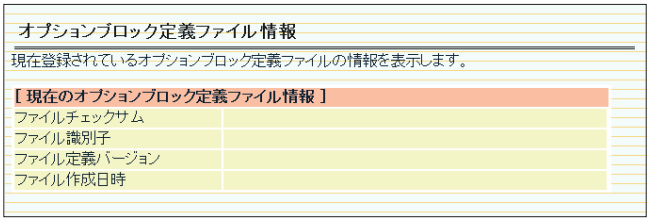
重 要

削除中（書き込み中）に電源を切ったりすると音声ファイル、オプションブロック定義ファイルが壊れる可能性があります。

2. 削除完了後、本製品を再起動してください。

● オプションブロック定義ファイル情報

1. 現在登録されているオプションブロック定義ファイルの情報を表示します。

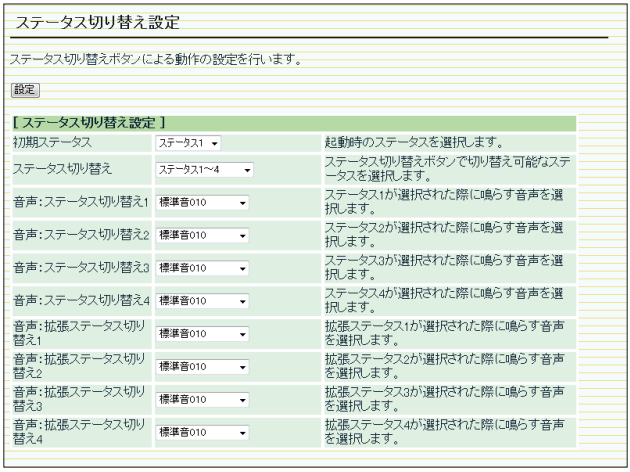


■ステータス切り替え設定

サーバと通信する場合に、サーバに対してステータスランプの情報を送信します。ステータスは 4 つですが、拡張ステータスを使用することで 8 つまでのステータスを送ることができます。

1. 設定ページ左側の［ステータス切り替え］ボタンをクリックします。
［ステータス切り替え設定］画面が開きます。

2. 必要な設定を行います。



▼ ステータス切り替え設定

初期ステータス	起動時のステータスを選択します。「ステータス切り替え」で利用する範囲内のステータスを選択してください。
ステータス切り替え	ステータス切り替えボタンで切り替え可能なステータスを選択します。例えば「ステータス 1 ～ 3」と設定するとボタンを押すたびに「1」→「2」→「3」→「1」…の順にステータスが切り替わります。また、例えば「ステータス 1 ～ 3」の場合はステータス 4 と拡張ステータス 4 が使用できません。
音声： ステータス切り替え 1	ステータス 1 が選択されたときに鳴らす音声を選択します。
音声： ステータス切り替え 2	ステータス 2 が選択されたときに鳴らす音声を選択します。
音声： ステータス切り替え 3	ステータス 3 が選択されたときに鳴らす音声を選択します。
音声： ステータス切り替え 4	ステータス 4 が選択されたときに鳴らす音声を選択します。

音声： 拡張ステータス切り替え１	拡張ステータス１が選択されたときに鳴らす音声を選択します。
音声： 拡張ステータス切り替え２	拡張ステータス２が選択されたときに鳴らす音声を選択します。
音声： 拡張ステータス切り替え３	拡張ステータス３が選択されたときに鳴らす音声を選択します。
音声： 拡張ステータス切り替え４	拡張ステータス４が選択されたときに鳴らす音声を選択します。

3. 設定を保存するために、［設定］ボタンをクリックします。
本製品を再起動すると設定が有効になります。

MEMO

拡張ステータスはステータス切り替えボタンを長く押すことで選択できます。もう一度ステータス切り替えボタンを押すともとのステータスが選択できます。
詳しくは、「4-13 ステータス / ランプについて」〈P.71〉を参照してください。

3-3 本製品の運用方法

1. 導入するネットワークに応じてネットワークの設定を行います。〈P.51 〉

2. コンセントから電源プラグを抜き、AC アダプタを外します。LAN ケーブルを外します。

3. 本製品を設置したい場所に運び、本製品とハブ等を LAN ケーブルでつなぎ、ネットワークで使用できるようにします。

4. AC アダプタを取り付け、コンセントに電源プラグを差し込みます。
しばらくすると、本製品が起動し、運用を開始できます。

MEMO

設置時には必ず DIP スイッチの設定を確認してください。〈P.76 〉

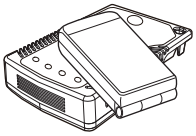
MEMO

運用する場合には、本製品に設定用のパソコンを接続する必要はありません。
また、本製品が通信できるネットワーク上に、Web サーバが動作している必要があります。

■本製品の利用

1. ステータス切り替えボタンを押します。ステータスランプが切り替わります。

2. 本製品の非接触 IC 読み取り部に、非接触 IC（FeliCa/MIFARE/Type B カードまたはおサイフケータイ）をかざします。



MEMO

おサイフケータイの電源がONになっていること、おサイフケータイのICカードロックが解除されていること、および、アプリケーションやブラウザ、メーラなどが起動していないことを最初に確認してください。おサイフケータイのFeliCaマークを、ピットタッチ・ビズの中心に当て、音が鳴るまでかざし続けてください。
※ DIPスイッチの状態や設定によっては音が鳴りません。

3. 本製品が非接触 IC（FeliCa/MIFARE/Type B カードまたはおサイフケータイ）のカード ID を読み取ります。設定に従い、読み取った情報をサーバに通知します。

※ オプションブロック機能を使用すると、定義に従ってカード内のデータブロックを読み出すことができ、読み出しに成功するとそのデータもあわせてサーバに通知します。オプションブロック機能についての詳細は、「オプションブロック利用マニュアル」を参照してください。

※ オプションブロック機能を使用しない場合、オプションブロック機能の条件に一致しない場合、または eLWISE .Com-ID カードを検出した場合は、設定「カード検出動作」に従って動作します。「結果表示のみ」に設定されている場合はサーバへの通知は行いません。

4. サーバの応答によって、おサイフケータイのメーラやブラウザ、アプリケーションを起動したり、トルカ /au ケータイクーポンを配布したりします。また、本製品のランプの点滅方法や鳴らす音声もサーバの応答により変わります。

※ サーバを構築するためには、別途「サーバ送受信仕様書」が必要です。お買い求めになった販売元へお問い合わせください。

第 4 章 その他の設定 / 管理
4-1 本製品をネットワークに接続するには

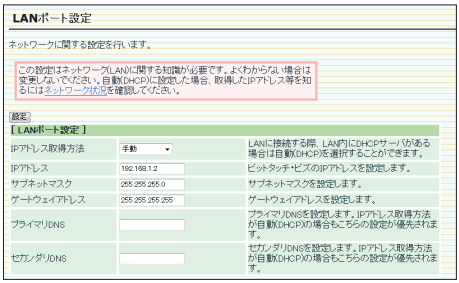
本製品をネットワークに接続する場合、お読みください。ネットワークに関する設定を行います。

重 要

本製品を使用するためにはパスワードを変更する必要があります。
詳しくは「4-10 パスワードを変更するには」〈P.65〉を参照し、必ず本製品のパスワードを変更してください。

■設定方法

1. 設定ページ左側の［LAN ポート設定］ボタンをクリックします。
［LAN ポート設定］画面が開きます。必要な設定を行います。



▼ LAN ポート設定

IP アドレス取得方法	IP アドレスを「手動」「自動（DHCP)」から選択します。工場出荷時は、［手動］です。
IP アドレス	本製品の IP アドレスを入力します。［IP アドレス取得方法］に［自動（DHCP)］を選択した場合は、この設定は使用しません。工場出荷時は、［192.168.1.2］です。 DIP スイッチの設定によっては、固定の IP アドレスで起動できます。詳しくは〈P.76〉を参照してください。
サブネットマスク	本製品のサブネットマスクを入力します。［IP アドレス取得方法］に［自動（DHCP)］を選択した場合は、この設定は使用しません。工場出荷時は、［255.255.255.0］です。
ゲートウェイアドレス	本製品を導入するネットワークのゲートウェイアドレスを入力します。［IP アドレス取得方法］に［自動（DHCP)］を選択した場合は、この設定は使用しません。工場出荷時は、［255.255.255.255］です。
プライマリ DNS	本製品は、［IP アドレス取得方法］に［自動（DHCP)］を選択して DHCP サーバから取得した DNS アドレスよりも、この設定を優先して使用します。
セカンダリ DNS	本製品は、［IP アドレス取得方法］に［自動（DHCP)］を選択して DHCP サーバから取得した DNS アドレスよりも、この設定を優先して使用します。

2. 設定した内容を保存するために、［設定］ボタンをクリックします。
本製品を再起動すると設定が有効になります。

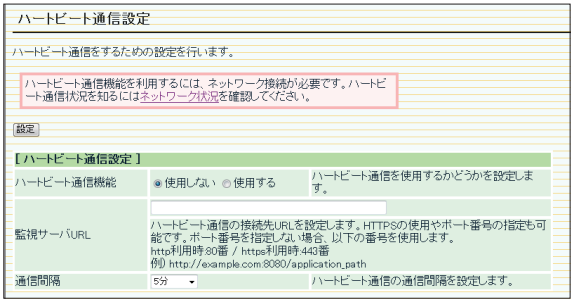
4-2 ハートビート通信機能について

ハートビート通信機能とは、本製品が監視サーバに対して定期的に HTTP で通信することにより本製品の通信状態を確認できる機能です。

■設定方法

1. 設定ページ左側の［ハートビート通信］ボタンをクリックします。
［ハートビート通信設定］画面が開きます。

2. 必要な設定を行います。



▼ ハートビート通信設定

ハートビート通信機能	ハートビート通信を使用するかどうかを設定します。
監視サーバ URL	ハートビート通信の接続先 URL を設定します。HTTPS の使用やポート番号の指定も可能です。ポート番号を指定しない場合は、80 番を使用します。https 通信時は 443 を使用します。 例）ポート番号に 8080 を指定した場合 http://example.com:8080/application_path
通信間隔	ハートビート通信の通信間隔を設定します。工場出荷時は 5 分です。

3. 設定した内容を保存するために、［設定］ボタンをクリックします。
本製品を再起動すると設定が有効になります。再起動後に最初のハートビート通信が行われます。

MEMO

ハートビート通信状況を確認できます。
設定ページ左側の「ネットワーク状況」ボタンをクリックします。

MEMO

ハートビート通信では端末 ID などの情報を監視サーバに通知します。詳細は「サーバ送受信仕様書」を参照してください。

4-3 ピットタッチ検索設定

ピットタッチ検索とは、LAN 内（同一サブネット内）のピットタッチ・ビズを検索できる機能です。ピットタッチの IP アドレスを調べたい場合などに便利です。ピットタッチ検索クライアントを使用します。ここでは、ピットタッチ検索クライアントからの検索コマンドに対する応答設定を行います。

MEMO

ピットタッチ検索クライアントは、ご提供は、終了いたしました。
設定を変更しても、他の機能に影響はありません。

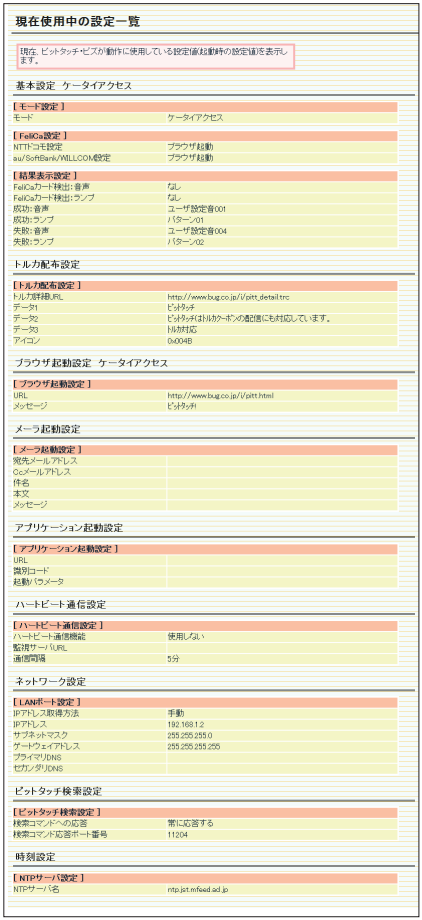
4-4 設定を確認するには

本製品の現在使用中の設定や、設定ページで設定したすべての内容を確認できます。

※ パスワードは＊で表示されます。また、設定ページを開く際に必要となる［設定パスワード］は表示されません。

■現在使用中の設定を確認するには

1. 設定ページ左側の［設定一覧］をクリックします。
［現在使用中の設定一覧］画面が開きます。
※画面は「ケータイアクセスモード」の例です。



現在使用中の設定一覧

現在、ピットタッチ・ビズが動作に使用している設定値(起動時の設定値)を表示します。

基本設定 ケータイアクセス

[モード設定]	
モード	ケータイアクセス

[FeliCa設定]	
NTTドコモ設定	ブラウザ起動
au/SoftBank/WILLCOM設定	ブラウザ起動

[結果表示設定]	
FeliCaカード検出:音声	なし
FeliCaカード検出:ランプ	なし
成功:音声	ユーザ設定音001
成功:ランプ	パターン01
失敗:音声	ユーザ設定音004
失敗:ランプ	パターン02

トルカ配布設定

[トルカ配布設定]	
トルカ取得用URL	http://www.bugico.jp/i/pitt_detail.trc
データ1	ピットタッチ
データ2	ピットタッチ(おトルカクーポンの通信にも対応しています。
データ3	トルカ対応
アイコン	0x0048

ブラウザ起動設定 ケータイアクセス

[ブラウザ起動設定]	
URL	http://www.bugico.jp/i/pitt.html
メッセージ	ピットタッチ!

メーラ起動設定

[メーラ起動設定]	
宛先メールアドレス	
Ccメールアドレス	
件名	
本文	
メッセージ	

アプリケーション起動設定

[アプリケーション起動設定]	
URL	
識別コード	
起動パラメータ	

ハートビート通信設定

[ハートビート通信設定]	
ハートビート通信機能	使用しない
監視サーバURL	
通信間隔	5分

ネットワーク設定

[LANポート設定]	
IPアドレス取得方法	手動
IPアドレス	192.168.1.2
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	255.255.255.255
プライマリDNS	
セカンダリDNS	

ピットタッチ検索設定

[ピットタッチ検索設定]	
検索コマンドへの応答	常に応答する
検索コマンド応答ポート番号	11204

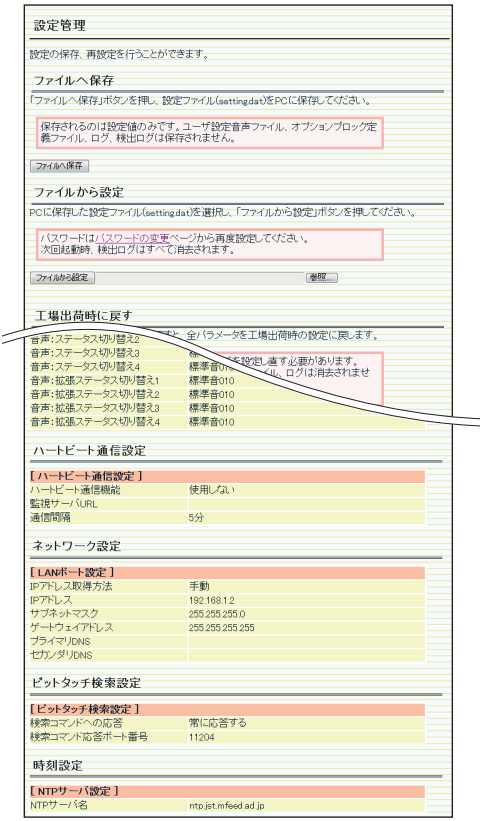
時刻設定

[NTPサーバ設定]	
NTPサーバ名	ntp.jst.mfeed.ad.jp

2. 本製品が使用している設定を確認できます。
現在、本製品が動作に使用している設定が表示されます。

■設定ページで設定したすべての内容を確認するには

1. 設定ページ左側の［設定管理］をクリックします。
［設定一覧］画面が開きます。



2. ［設定一覧］では設定ページで設定したすべての内容を確認できます。
本製品を再起動すると、この設定内容が本製品に反映されます。また、設定をファイルに保存する場合は、この設定内容が保存されます。

4-5 モードを切り替えるには

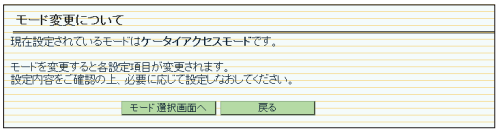
本製品のモードを切り替えることができます。

MEMO

本製品が工場出荷時の場合は、［本製品の設定］を参照して設定してください。
モードごとに設定の手順を解説しています。
〈P.15〉〈P.32〉

■本製品のモードを切り替えるには

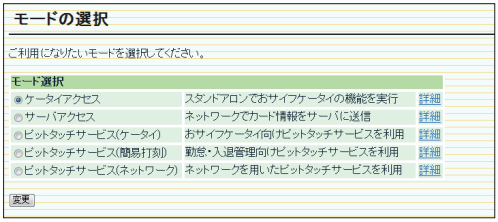
1. 設定ページ左側の［モードを変更する］をクリックします。
［モード変更について］画面が開きます。［モード選択画面へ］をクリックします。



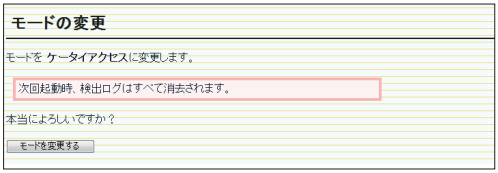
MEMO

モードを変更する場合、検出タイプ、再送設定が変更されます。必要に応じて設定し直してください。
モードを変更すると、次回再起動時に検出ログが消去されます。

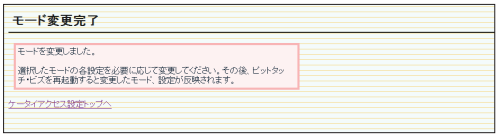
2. ［モードの選択］画面が開きます。
使用したいモードのボタンをクリックします。



3. ［モードの変更］画面が開きます。
「モードを変更する」ボタンをクリックします。



4. ［モード変更完了］画面が表示されます。

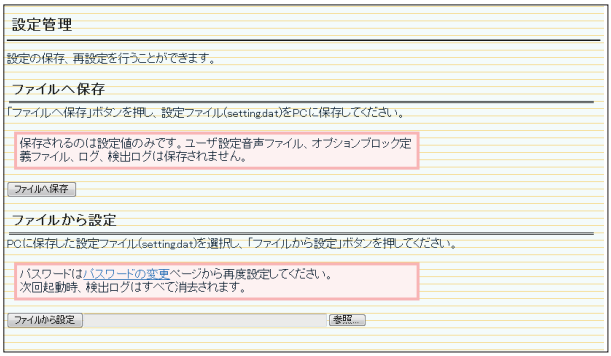


4-6 設定をファイルに保存 / 保存した設定を再設定するには

本製品の設定をパソコンへ保存したり、保存した設定を再設定したりできます。

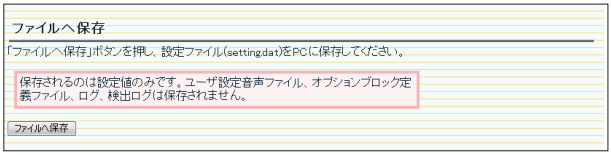
■設定方法

1. 設定ページ左側の［設定管理］ボタンをクリックします。
［設定管理］画面が開きます。



■ファイルに保存

1. ［ファイルへ保存］ボタンをクリックし、設定ファイル（setting.dat）をパソコンに保存します。



2. ［ファイルのダウンロード］ダイアログが表示され、［保存］ボタンをクリックします。

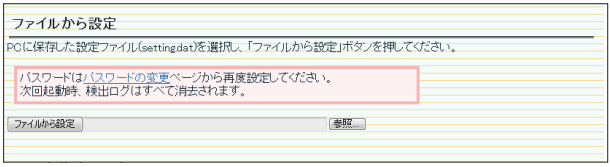
3. ［名前を付けて保存］ダイアログが表示されるので、［ファイル名］に、保存する設定ファイルの名前を入力します。
［保存］ボタンをクリックします。本製品の設定が、ファイルに保存されます。

※ ファイルに設定を保存する場合、保存されるのは設定のみです。ユーザ設定音声ファイル、オプションブロック定義ファイル、ログ、検出ログは保存されません。

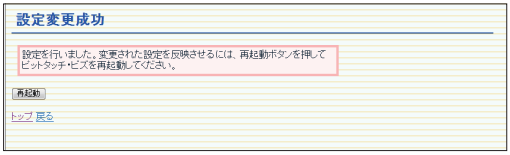
※ ［設定一覧］に表示されている内容がファイルに保存されます。

■ファイルから設定

1. パソコンに保存した設定ファイルを選択します。
［参照］ボタンをクリックします。［ファイルの選択］ダイアログが表示されるので、パソコンに保存した設定ファイルを選択し、［開く］ボタンをクリックします。



2. ［ファイルから設定］ボタンをクリックします。
「設定変更成功」画面が表示されます。



3. 設定を有効にするために、［再起動］ボタンをクリックして本製品を再起動します。

重 要

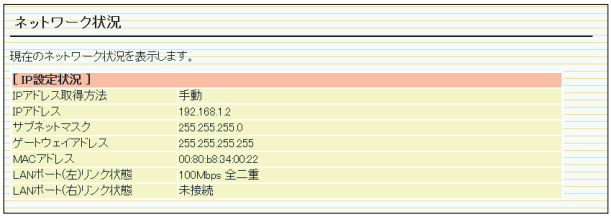
次回再起動時、検出ログはすべて消去されます。

4-7 本製品のネットワーク状況を確認するには

本製品をネットワークに接続している際、ネットワークに関する情報を確認できます。

■確認方法

1. 設定ページ左側の［ネットワーク状況］ボタンをクリックします。
［ネットワーク状況］画面が開きます。



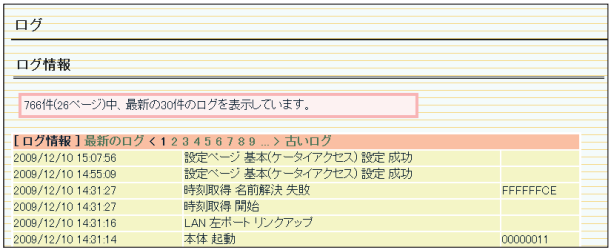
［IP アドレス取得方法］で［自動（DHCP)］に設定した場合は、取得したゲートウェイアドレスや DNS サーバのアドレスを確認できます。
また、ハートビート通信状況を確認できます。

4-8 本製品のログを確認するには

本製品では最大約 3000 件のログを保存できます。
エラーや設定の変更、おサイフケータイをかざされた際の簡易な記録（詳細な記録については「検出ログ」〈P.62〉を参照してください）、サーバとの通信状況などが記録されます。必要に応じて確認してください。

■確認方法

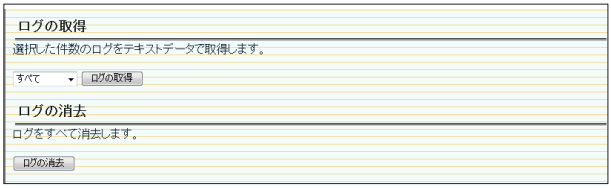
1. 設定ページ左側の［ログ］ボタンをクリックします。
［ログ］画面が開きます。ログ情報の一覧を表示します。
ログは上から新しい順に表示します。



■ログの取得

本製品に保存されているログを、テキストデータで取得できます。

1. ログ一覧の下にあるメニューから、取得するログの件数を選択します。



2. ［ログの取得］ボタンをクリックします。
メニューで選択した件数の最新ログを、テキストデータで取得できます。
ログはテキストに上から新しい順で記述します。

■ログの消去

1. ［ログ］画面の下に表示されている、［ログ消去］ボタンをクリックします。

2. ［ログ消去確認］画面に表示されている、［ログを消去する］ボタンをクリックします。
「現在のログを消去しました」と表示され、現在本製品に保存されているログをすべて消去します。
ステータスボタンの操作でも消去できます。この操作では検出ログ、設定も初期化します。〈P.78〉

4-9 本製品の検出ログを確認するには

本製品ではログとは別に、非接触 IC を検出した際の詳細情報と読み出したデータ、かざされた際のステータス状況を検出ログとして保存できます。最大約 8000 件のログを保存できます。ただし、保存する内容により、保存可能件数が異なります（オプションブロック使用時は最大約 900 件）。必要に応じて確認してください。

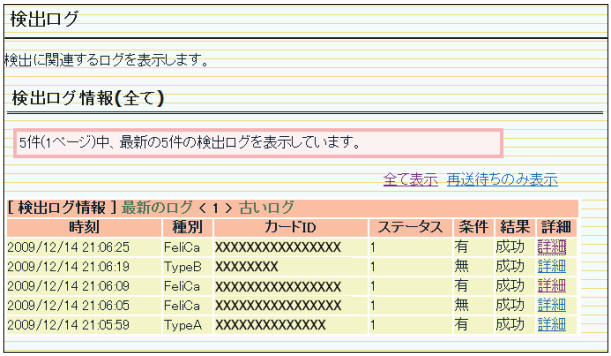
また、プライマリサーバへの再送機能を使用している場合、再送待ち検出ログを保存することがあります。再送待ち検出ログが保存されていると新たな検出ログの追加がされない場合があります。詳しくは「5-2 再送機能について」〈P.83〉を参照してください。

■確認方法

1. 設定ページ左側の［検出ログ］ボタンをクリックします。

［検出ログ］画面が開きます。検出ログ情報の一覧を表示します。

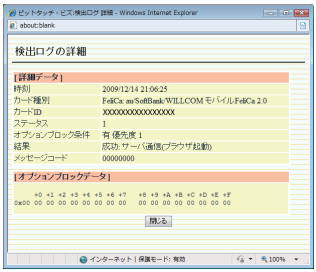
検出ログは上から新しい順に表示します。



▼ 検出ログ情報

時刻	検出した時刻を表示します。
種別	検出した非接触 IC の種別を表示します。
カード ID	検出した非接触 IC のカード ID を表示します。 FeliCa の場合は FeliCa ID、MIFARE の場合は UID、eLWISE(Type B) の場合は .Com-ID となります。
ステータス	検出時のステータス〈P.71〉を表示します。
条件	検出した非接触 IC がオプションブロック定義ファイルの条件に該当したかを表示します。
結果	通信結果を表示します。 「成功」「失敗」「セカンダリサーバ通信発生時：(セカンダリ)」「再送待ち：(再送待ち)」「再送完了：(再送完了)」

2. [詳細] をクリックすると、検出ログそれぞれの詳細情報をダイアログで表示します。



▼ 詳細データ

時刻	検出した時刻を表示します。
カード種別	検出した非接触 IC の種別を表示します。
カード ID	検出した非接触 IC のカード ID を表示します。
ステータス	検出時のステータス〈P.71〉を表示します。
オプションブロック条件	使用したオプションブロック定義ファイルの条件を表示します。
結果	詳細な通信結果を表示します。
メッセージコード	ログを記録する際の内部コードを表示します。

▼ オプションブロックデータ

オプションブロックデータ読み出し時は、「オプションブロックデータ」を「▼詳細データ」の下に表示します。
詳細は「オプションブロック利用マニュアル」を参照してください。「オプションブロック利用マニュアル」についてはお買い求めになった販売元へお問い合わせください。

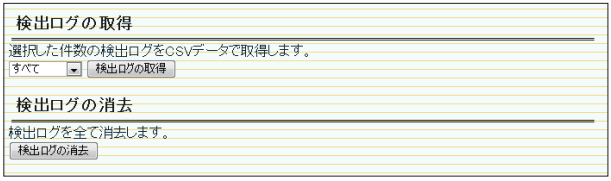
▼ .Com-ID（有効期限）

eLWISE 検出時は、「.Com-ID（有効期限）」を「▼詳細データ」の下に表示します。

■検出ログの取得

本製品に保存されている検出ログを、CSV 形式で取得できます。

1. 検出ログ一覧の下にあるメニューから、取得する検出ログの件数を選択します。



2. ［検出ログの取得］ボタンをクリックします。
メニューで選択した件数の最新ログを、CSV 形式で取得できます。
ログは CSV ファイルに上から新しい順で記述します。

■検出ログの消去

1. ［ログ］画面の下に表示されている、［検出ログの消去］ボタンをクリックします。

2. ［検出ログの消去確認］画面に表示されている、［検出ログを消去する］ボタンをクリックします。
「現在の検出ログの消去を完了しました」と表示され、現在本製品に保存されている検出ログをすべて消去します。
ステータスボタンの操作でも消去できます。この操作ではログ、設定も初期化します。〈P.78〉

MEMO

以下の操作を行うと、それ以降の再起動で、検出ログは消去されます。
・モードの変更〈P.56〉
・［サーバ通信］の下記設定の変更（変更するとダイアログが表示されます）
　・［サーバ設定］の「プライマリサーバ URL」※ 1
　・［送信パラメータ設定］の「送信メソッド」※ 1
　・［送信パラメータ設定］の「フォーマット」※ 1
　・［送信パラメータ設定］の「値 1」※ 1
　・［送信パラメータ設定］の「値 2」※ 1
・［再送設定 ］の「再送機能」※ 2
※ 1 サーバアクセスモードで設定可能
※ 2 サーバアクセスモード、ピットタッチサービス（簡易打刻）モード、ピットタッチサービス（ネットワーク）モードで設定可能
・オプションブロックに関する設定・ファイルを変更した場合（変更するとダイアログが表示されます）
・オプションブロック定義ファイルを登録
・オプションブロック定義ファイルを削除
・［設定管理］「工場出荷時に戻す」の操作
・［設定管理］「ファイルから設定」の操作
・メインテナンス起動時のステータスボタン操作

重 要

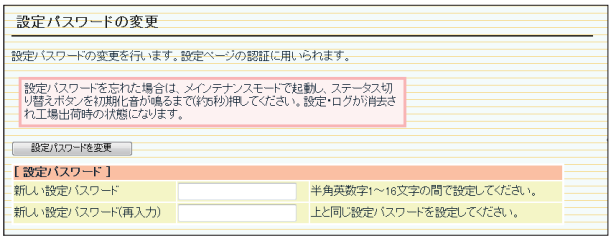
検出ログを消去すると、再送待ち検出ログも消去され、再送も行われなくなります。

4-10 パスワードを変更するには

本製品を使用するには最初にパスワードを変更する必要があります。
また、本製品のパスワードを変更したいときに設定します。

■設定方法

1. 設定ページ左側の［設定パスワード］ボタンをクリックします。
［設定パスワードの変更］画面が開きます。



▼ 設定パスワード

Web ブラウザから設定ページを開くときのパスワードを変更します。

新しいパスワード	新しいパスワードを入力します。半角英数字 1 ～ 16 文字で入力します。工場出荷時は、［default］です。 ※［default］以外のパスワードを入力してください。
新しいパスワード（再入力）	［新しいパスワード］に入力したパスワードをもう一度入力します。

※ ログインする際のユーザ名は変更できません。［admin］となります。

2. パスワードを設定する場合は、新しいパスワードを入力後、［設定パスワードを変更］ボタンをクリックします。

重 要

パスワードは適切に管理してください。
パスワードを忘れた場合は、本製品にアクセスできなくなります。その場合は、初期化することにより工場出荷時のパスワードに戻すことができます。〈P.77〉

MEMO

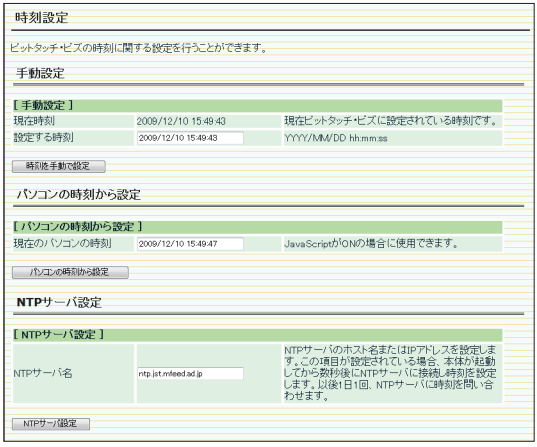
設定パスワードを忘れた場合は、メインテナンス起動後に、ステータス切り替えボタンを設定初期化音「ピー」が鳴るまで（約 5 秒）押し続けてください。設定・ログ・検出ログが消去され工場出荷時の状態になります。〈P.78〉

4-11 時刻を設定するには

時刻に関する設定ができます。

■設定方法

1. 設定ページ左側の［時刻設定］ボタンをクリックします。
［時刻設定］画面が開きます。



▼ 手動設定

現在時刻	本製品の時刻が表示されます。
設定する時刻	「年 / 月 / 日 時 : 分 : 秒（YYYY/MM/DD hh:mm:ss）」の形式で時刻を入力します。 設定できる範囲は 2000 年 1 月 1 日 0 時 0 分 0 秒（2000/01/01 00:00:00）から 2099 年 12 月 31 日 23 時 59 分 59 秒（2099/12/31 23:59:59）です。

▼ パソコンの時刻から設定

現在のパソコンの時間	使用している Web ブラウザの JavaScript が ON の場合、パソコンの時刻が表示されます。

▼ NTP サーバ設定

サーバ名	NTP サーバのホスト名または IP アドレスを入力します。工場出荷時は「ntp.jst.mfeed.ad.jp」が設定されています。この項目が設定されている場合、本体が起動してから数秒後に NTP サーバに接続し時刻設定します。以後 1 日 1 回、NTP サーバに時刻を問い合わせます。 ※ 本製品をネットワークに接続している場合に使用します。

2. 設定した内容を保存するために、各［設定］ボタンをクリックします。

4-12 音声ファイルについて

本製品で利用できる音声ファイルの種類には、標準で搭載している音声のほか、ユーザが追加・変更することのできるユーザ設定音があります。

非接触 IC をかざしたときの音声や、ステータス切り替えボタンを押したときの音声などを設定できます。各モードの「基本設定：結果表示設定」「サーバ通信設定（拡張）：代理応答設定」などで設定します。

■音声ファイルについて

さまざまな動作時に再生する音声を、標準の音声ファイルまたはユーザ設定音から選択し、設定できます。

以下は工場出荷時に登録されている音声ファイルのリストです。

標準の音声ファイルは削除、変更することはできません。

1. 標準の音声ファイル

番　号	音声ファイル
001	起動音
009	ピー（トーン）
010	ピ（トーン）
011	ピピ（トーン）
012	ピピピ（トーン）

※ 002 ～ 008、013 ～ 018 は使用できません。

2. ユーザ設定音

番　号	音声ファイル
001	成功音 1
002	成功音 2
003	失敗音 1
004	失敗音 2
005	ありがとうございます
006	クーポンのご利用ありがとうございます
007	ご確認ください
008	おはようございます
009	お帰りなさい

番　号	音声ファイル
010	おつかれさまでした
011	いってらっしゃい
012	さようなら
013	登録がありません
014	出勤です
015	退勤です
016	外出です
017	戻りです
018	エラーです

MEMO

すべての音声データは、本製品のスピーカーで試聴できます。設定ページ左側の［音声情報］ボタンをクリックして、［音声情報］画面から試聴できます。
DIP スイッチの設定によっては、試聴できません。〈P.76〉

■音声ファイルを追加・変更するには

おサイフケータイ検出時などに再生する音声を変更、追加できます。

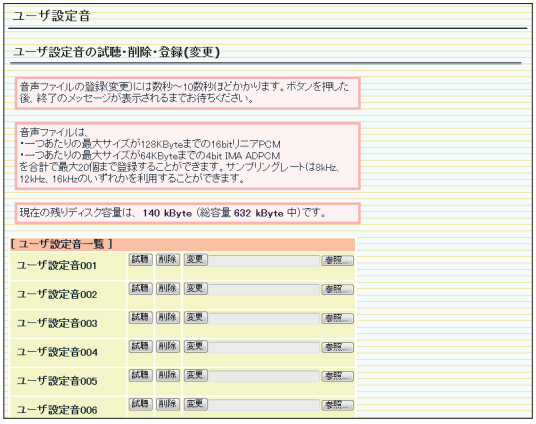
1. 音声ファイルをパソコンに用意します。
ユーザが追加できる音声フォーマットは以下のとおりです。

チャネル	1（モノラル）
コーデック	16bit PCM/4bit IMA ADPCM（16bit ソース）
サンプリング周波数	8kHz, 12kHz, 16kHz
ファイル最大サイズ	16bit PCM データの場合 128Kbyte（128 × 1024byte） 16kHz サンプリングで約 4 秒 64bit ADPCM データの場合 64Kbyte（64 × 1024byte） 16kHz サンプリングで約 8 秒

MEMO

以下のアプリケーションで作成した音声での再生を確認しています。
・GoldWave (ver.5)
・Windows サウンドレコーダ (ver.5)

2. 設定ページ左側の［音声情報］ボタンをクリックします。
［ユーザ設定音一覧］画面が開きます。



MEMO

音声を保存できる残り領域が設定ページ右上側に表示されます。

3. パソコンに保存した音声ファイルを選択します。
ユーザ設定音 001 ～ 020 のいずれかの［参照］ボタンをクリックします。
［ファイルの選択］ダイアログが表示されるので、パソコンに保存した音声ファイルを選択して、［開く］ボタンをクリックします。

4. ［登録］ボタンをクリックします。

5. すべてのランプ（緑）が同時点滅して、音声ファイルの書き込みが行われます。

重 要

書き込み中は絶対に電源を切らないでください。すべての音声ファイル、オプションブロック定義ファイルが壊れる可能性があります。

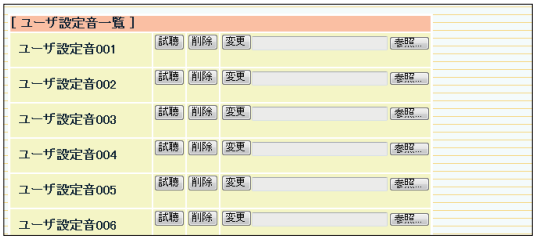
MEMO

ユーザ設定音の変更または更新には数秒から 10 数秒かかります。ボタンをクリックしたあと、終了のメッセージが表示されるまでお待ちください。

■音声ファイルを削除するには

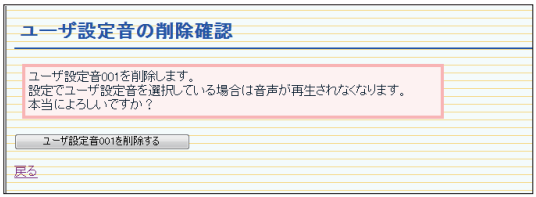
ユーザ設定音で登録している音声ファイルを削除できます。

1. 設定ページ左側の［音声情報］ボタンをクリックします。
［ユーザ設定音一覧］画面が開きます。



2. 登録しているユーザ設定音の［削除］ボタンをクリックします。

3. ［ユーザ設定音の削除確認］画面が開きます。
［ユーザ設定音を削除する］ボタンをクリックします。



4. すべてのランプ（緑）が同時点滅して、音声ファイルの削除が行われます。

重 要

削除中は絶対に電源を切らないでください。すべての音声ファイル、オプションブロック定義ファイルが壊れる可能性があります。

MEMO

ユーザ設定音の削除には数秒から 10 数秒かかります。ボタンをクリックしたあと、終了のメッセージが表示されるまでお待ちください。

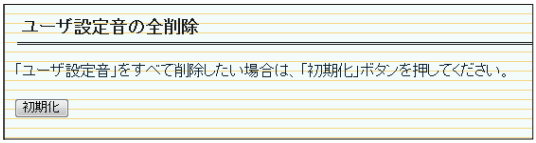
■ユーザ設定音の初期化

ユーザ設定音をすべて削除できます。

※ 標準の音声は消去されません。

1. 設定ページ左側の［音声情報］ボタンをクリックします。

［音声情報］画面が開きます。［ユーザ設定音の全削除］の［初期化］ボタンをクリックします。



2. ［ユーザ設定音の初期化確認］画面が開きます。

［ユーザ設定音を初期化する］ボタンをクリックすると登録しているユーザ設定音 001 から 020 がすべて消去されます。

重 要

削除中は絶対に電源を切らないでください。すべての音声ファイル、オプションブロック定義ファイルが壊れる可能性があります。

MEMO

ユーザ設定音の初期化には数秒から 10 数秒かかります。ボタンをクリックしたあと、終了のメッセージが表示されるまでお待ちください。

4-13 ステータス / ランプについて

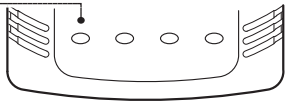
点灯しているランプをステータスランプと呼びます。モードによってステータスランプは変わります。

※ 左からステータス 1、ステータス 2、ステータス 3、ステータス 4 のランプです。

■ステータスランプについて

●ケータイアクセスモード

1番左側のランプが常にステータスランプです。
ボタンを長く押しても拡張ステータスにはなりません。



●サーバアクセスモード
●ピットタッチサービス（ケータイ）モード
●ピットタッチサービス（簡易打刻）モード
●ピットタッチサービス（ネットワーク）モード

起動直後のステータスランプは設定「初期ステータス」で選択したものとなります。

ボタンを押すたびにステータスランプは、左から右に移動します（1 番右まで移動すると、次は 1 番左へ移動します）。

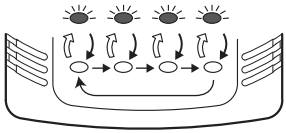
左側の 1 つ～ 3 つのランプだけを使用することもできます。〈P.47〉

ボタンを 1.5 秒以上長く押すと拡張ステータスになります。

例えば、ステータス 1 が選択されている状態で長く押すと拡張ステータス 1 になります。

拡張ステータスの状態でボタンを押すと、通常のステータスに戻ります。

ステータスランプの状態は、サーバに送られます。〈P.49〉



⇨：ボタンを1.5秒以上長く押す

→：ボタンを押す

○：点灯

：点滅

MEMO

ステータスをサーバに送ることで、ステータスごとに異なるブラウザ起動を実行させたり、勤怠管理などで使用できます。

■ランプについて

ケータイアクセスモード

電源投入後	正常時	緑色：ステータスランプ点灯
	設定が不正	赤色：すべて同時点滅〈P.88〉
非接触 IC 読み取り中		緑色：ステータスランプ点滅
おサイフケータイをかざす	成功	基本設定：「成功：ランプ」に従う〈P.28〉
	失敗	基本設定：「失敗：ランプ」に従う〈P.28〉
FeliCa カードをかざす		基本設定：「FeliCa カード検出：ランプ」に従う〈P.28〉
ステータス切り替えボタンを押す		何も起こりません
その他	ファームウェア更新時	緑色：すべて同時点滅
	音声ファイル更新時	

サーバアクセスモード

<table>
<tr><td rowspan="4">電源投入後</td><td colspan="2"><table>
<tr><td></td><td>ネットワーク通信可能</td><td>ネットワーク通信不可能</td></tr>
<tr><td>再送待ちログなし</td><td>緑色：ステータスランプ点灯 ※ 1</td><td>赤色：ステータスランプ点灯〈P.92〉※ 1</td></tr>
<tr><td>再送待ちログあり</td><td>「緑色：ステータスランプ点灯」→「緑色：その他 3 つのランプ同時点滅」を繰り返し</td><td>「赤色：ステータスランプ点灯」→「緑色：その他 3 つのランプ同時点滅」を繰り返し</td></tr>
<tr><td>再送待ちログがいっぱいの状態</td><td>「緑色：ステータスランプ点灯」→「赤色：その他 3 つのランプ同時点滅」を繰り返し</td><td>「赤色：ステータスランプ点灯」→「赤色：その他 3 つのランプ同時点滅」を繰り返し</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>設定が不正</td><td>赤色：すべて同時点滅〈P.89〉</td></tr>
<tr><td rowspan="3">サーバ通信</td><td>通信中</td><td>緑色：ステータスランプ点滅 ※ 1</td></tr>
<tr><td>通信エラーまたは応答内容不正</td><td>基本設定「失敗：ランプ」に従う〈P.36〉※ 3</td></tr>
<tr><td>サーバ応答内容正常</td><td>サーバからの指示に従う</td></tr>
<tr><td rowspan="4">非接触 IC 読み取り</td><td>読み取り中：ネットワーク通信可能</td><td>緑色：ステータスランプ点滅 ※ 1</td></tr>
<tr><td>読み取り中：ネットワーク通信不能</td><td>赤色：ステータスランプ点滅 ※ 1</td></tr>
<tr><td>読み取りエラー</td><td>基本設定「失敗：ランプ」に従う〈P.36〉</td></tr>
<tr><td>検出後、結果表示のみ※ 2</td><td>「カード検出：ランプ」に従う〈P.36〉</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ステータス切り替えボタンを押す</td><td>ネットワーク通信可能</td><td>緑色：ステータスランプが右から左に順に移動〈P.??〉※ 4
拡張ステータスの場合は、移動せず、通常ステータスになる</td></tr>
<tr><td>ネットワーク通信不能</td><td>赤色：ステータスランプが右から左に順に移動〈P.??〉※ 4
拡張ステータスの場合は、移動せず、通常ステータスになる</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ステータス切り替えボタンを 1.5 秒以上押す</td><td>ネットワーク通信可能</td><td>緑色：ステータスランプは移動せずに点滅し、拡張ステータスになる〈P.??〉※ 4
拡張ステータスの場合は、移動せず、通常ステータスになる</td></tr>
<tr><td>ネットワーク通信不能</td><td>赤色：ステータスランプは移動せずに点滅し、拡張ステータスになる〈P.??〉※ 4
拡張ステータスの場合は、移動せず、通常ステータスになる</td></tr>
<tr><td rowspan="2">その他</td><td>ファームウェア更新時</td><td rowspan="2">緑色：すべて同時点滅</td></tr>
<tr><td>音声ファイル書き換え時</td></tr>
</table>

※ 1 電源投入後のステータスランプは、設定「初期ステータス」により、4 つのランプのうちのどれかを指定できます。〈P.47〉

※ 2 オプションブロック定義を使用しない場合、指定カードではない非接触 IC を検出した場合、あるいは eLWISE .Com-ID を検出した場合の動作は、設定［カード検出動作］に従います（サーバアクセスモード）。〈P.36〉

※ 3 設定「再送機能」を「プライマリサーバへ再送」としている場合の通信エラー発生時は「代理応答設定」に従います。また、サーバアクセスモードで、未対応フォーマットを受信した場合は「代理応答設定」に従います。〈P.42〉

※ 4 使用可能なランプの数を設定できます。〈P.47〉

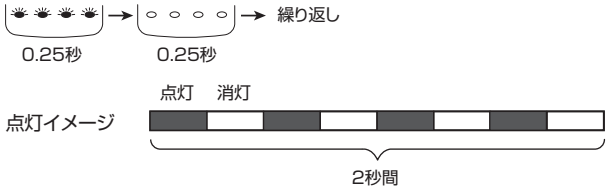
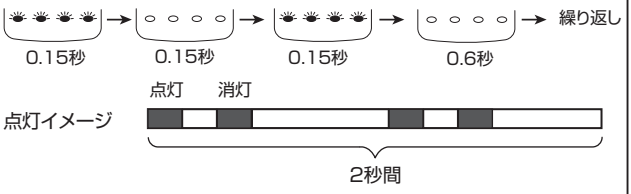
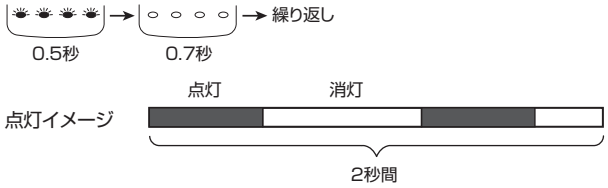
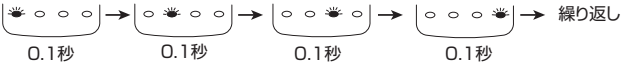
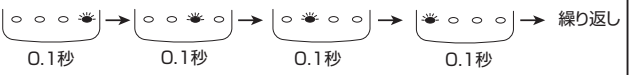
初期設定では、4 つのランプすべてを使用します。

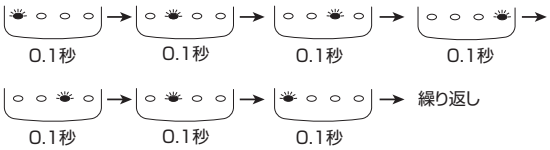
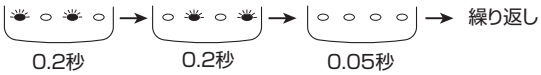
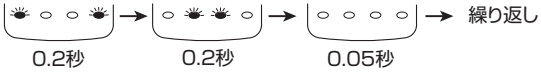
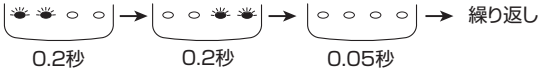
4-14 ランプパターンについて

結果表示に選択できるランプパターンについて説明します。

ランプパターンは 9 つの点灯パターンがあり、緑色で点灯するパターンと赤色で点灯する 2 種類があります。（パターン 1 から 18）

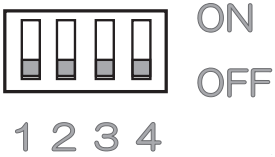
また、点灯もしくは点滅する時間は 2 秒間です。

点灯するランプ		点灯パターン　：点灯　：消灯
緑色	赤色	
パターン 1	パターン 2	
パターン 3	パターン 4	
パターン 5	パターン 6	
パターン 7	パターン 8	
パターン 9	パターン 10	

<table>
<tr><td>パターン 11</td><td>パターン 12</td><td> 
</td></tr>
<tr><td colspan="2">点灯するランプ</td><td rowspan="2">点灯パターン　：点灯　：消灯</td></tr>
<tr><td>緑色</td><td>赤色</td></tr>
<tr><td>パターン 13</td><td>パターン 14</td><td> 
</td></tr>
<tr><td>パターン 15</td><td>パターン 16</td><td> 
</td></tr>
<tr><td>パターン 17</td><td>パターン 18</td><td> 
</td></tr>
</table>

4-15 DIP スイッチの設定について

■ DIP スイッチについて



重 要

DIP スイッチの切り替えは、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。DIP スイッチの設定は、電源を入れてから有効になります。

● DIP スイッチの設定について

本製品は、通常起動とメインテナンス起動の２つの起動モードがあります。〈P.81〉

DIP スイッチ 1：起動モード	ON OFF: **通常起動** 1	ON: **メインテナンス起動** ※1 OFF 1
DIP スイッチ 2： ランプ表示 /IP アドレス	ON: ランプ表示なし OFF: ランプ表示あり 2	ON: 固定 IP ※2 OFF: 設定に従う 2

音の設定は２つのモードで共通です。

DIP スイッチ 3：音声再生	ON OFF: 音声あり 3	ON: 音声なし ※3 OFF 3
DIP スイッチ 4：音量 ※4	ON: 音量大 OFF: 音量小 4	使用しません

※ 1 メインテナンス起動については、「5-1 メインテナンス起動について」〈P.81〉を参照してください。

※ 2 メインテナンス起動で DIP スイッチ 2 を ON にした場合、LAN ポート設定にかかわらず、以下の固定 IP アドレスで動作します。

IP アドレス：192.168.1.2
サブネットマスク：255.255.255.0
ゲートウェイ：192.168.1.1
プライマリ DNS：なし
セカンダリ DNS：なし

※ 3 DIP スイッチ 3 で「ON: 音声なし」に設定した場合でも、指定した音声ファイルの再生時間分だけ処理時間を必要とします。

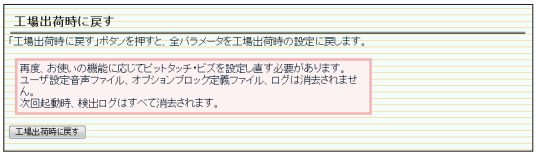
※ 4 DIP スイッチ 3 を ON にしていると DIP スイッチ 4 の設定にかかわらず音は鳴りません。

4-16 初期化するには

何らかのトラブルがあった場合、設定 / ログ / 検出ログを工場出荷時に戻すことができます。

■設定ページから初期化する方法

1. 設定ページ左側の［設定管理］ボタンをクリックします。
［設定管理］画面が開きます。［工場出荷時に戻す］のボタンをクリックします。



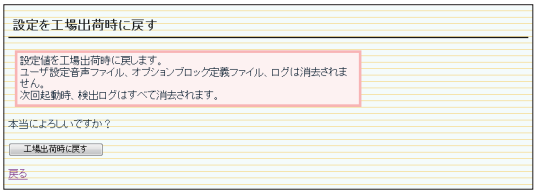
重 要

次回再起動時、検出ログも消去されます。

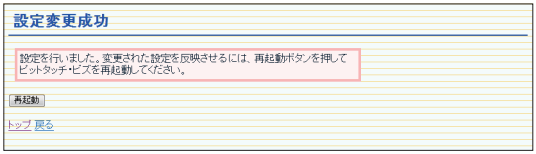
重 要

IP アドレスなどのネットワーク設定を含む、すべての設定が初期化されます。初期化のあとは、「設定ページを開くには」〈P.17〉を参照して本製品の設定ページを開いて、必要な設定を行ってください。

2. ［工場出荷時の設定について］画面が開きます。
［工場出荷時に戻す］ボタンをクリックすると、設定した内容がすべて初期化され、工場出荷時の状態に戻ります。



3. ［設定変更成功］画面が開きます。



4. 設定を有効にするために、［再起動］ボタンをクリックして本製品を再起動します。

MEMO

設定ページから初期化した場合、ログは削除されません。ログを削除したい場合は「ログの消去」を実行してください。
メインテナンス起動から初期化する方法もあります（設定、ログ、検出ログは削除されますが、音声は削除されません〈P.81〉）。
音声は初期化しても削除されません。ユーザ設定音を削除したい場合は、「音声ファイルを削除するには」〈P.69〉、「ユーザ設定音の初期化」〈P.70〉を参照してください。
登録したオプションブロック定義ファイル〈P.44〉は削除されません。ただし、オプションブロック設定の「オプションブロック定義」は、「使用しない」になります。

■メインテナンス起動で初期化する方法

1. メインテナンス起動で起動します。〈P.81〉
2. ステータス切り替えボタンを 5 秒以上押し続けます。
3. ランプが緑色ですべて同時に素早く点滅し、設定初期化音「ピー」が鳴ります。
   ※ DIP スイッチ 3 の設定によっては音が鳴りません。〈P.76〉

重 要

IP アドレスなどのネットワーク設定を含む、すべての設定が初期化されます。初期化のあとは、「設定ページを開くには」〈P.17〉を参照して本製品の設定ページを開いて、必要な設定を行ってください。

MEMO

メインテナンス起動で初期化した場合、すべての設定とログ、検出ログが削除されます。
音声は初期化しても削除されません。ユーザ設定音を削除したい場合は、「音声ファイルを削除するには」〈P.69〉、「ユーザ設定音の初期化」〈P.70〉を参照してください。
登録したオプションブロック定義ファイル〈P.45〉は削除されません。ただし、オプションブロック設定の「オプションブロック定義」は、「使用しない」になります。

4-17 本製品のファームウェアを更新するには

新しいバージョンのファームウェアがリリースされた場合、次の手順で本製品内部のファームウェアを更新できます。

■パソコンの準備 / 本製品とパソコンとの接続

ファームウェアの更新はパソコンから行います。本製品とパソコンが接続されていない場合は、「パソコンの準備」〈P.15〉、「本製品の接続」〈P.16〉に従って接続してください。

MEMO

ファームウェアの入手については、お買い求めになった販売元へお問い合わせください。

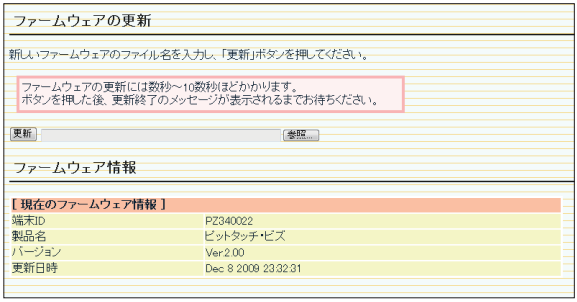
■ファームウェアの更新作業

重 要

ファームウェアの更新中は、絶対に本製品の AC アダプタや LAN ケーブルを抜かないでください。本製品の故障の原因になります。

1. Web ブラウザを起動し、本製品の設定ページを開きます。

2. 設定ページ左側の［ファームウェア］ボタンをクリックします。
［ファームウェアの更新］画面が表示されます。



3. ［参照］ボタンをクリックします。［ファイルの選択］ダイアログが表示されるので、用意したファームウェアのファイルを選択し、［開く］ボタンをクリックします。

4. [更新] ボタンをクリックします。
ファームウェアの更新が始まります。

重 要

本製品のファームウェアを更新している間は、すべてのランプが緑色で同時に点滅します。この状態のときに本製品の電源を OFF にすると、二度と本製品が起動しなくなる恐れがあります。ランプの点滅が終了し、設定ページに終了のメッセージが表示されるまで、電源を OFF にしないようにご注意ください。

更新終了までは、多少時間がかかることがあります。更新成功のメッセージが表示されるまで、そのままの状態で待ちます。

5. 更新成功のメッセージが表示されたら、[再起動] ボタンをクリックします。
※ 更新終了後にピーと音声が鳴ります（DIP スイッチの設定によっては鳴りません）。
本製品を再起動します。

第 5 章 付録
5-1 メインテナンス起動について

本製品には、通常起動のほかに、メインテナンス起動があります。ここではメインテナンス起動について解説します。

■メインテナンス起動でできること

● 設定 / ログ / 検出ログの初期化ができます。※ 1

● 設定によらず、固定 IP で起動できます。〈P.82 〉

● 設定ページを開くことができます。

※ 1 音声データ、オプションブロック定義ファイルは初期化されません。削除したい場合は各設定ページで個別に削除してください。

■メインテナンス起動するには

1. 本製品の電源を切ります。

2. DIP スイッチ 1 を ON にします。

3. 本製品の電源を入れます。
※ ステータス切り替えボタンを押しながら起動しないでください。

4. ステータス 4 のランプが点灯します。
※ ネットワークが使用できるときは、ランプが緑色で点灯します。使用できないときは、ランプが赤色で点灯します。
※ すべてのランプが赤色で点滅する場合は、設定が不正です。正しく設定をするか、初期化〈P.77 〉してください。
※ 起動音は鳴りません。

■設定 / ログ / 検出ログの初期化をするには

「4-16 初期化するには」〈P.77〉を参照してください。

■固定 IP アドレスで起動するには

設定によらず、固定 IP アドレスで本製品を起動できます。IP アドレスが分からなくなった場合などに便利です。

1. 本製品の電源を切ります。

2. DIP スイッチ 1 と 2 を ON にします。
「4-15 DIP スイッチの設定について」〈P.76〉を参照してください。

3. 本製品の電源を入れます。
※ ステータス切り替えボタンを押しながら起動しないでください。

4. 以下の IP アドレスで起動します。
IP アドレス：192.168.1.2
サブネットマスク：255.255.255.0
ゲートウェイ：192.168.1.1
プライマリ DNS：なし
セカンダリ DNS：なし

5-2 再送機能について

「サーバアクセスモード」「ピットタッチサービス（簡易打刻）」「ピットタッチサービス（ネットワーク）」の３つのモードでは、サーバと通信ができなかった場合に再送できます。これを「再送機能」と言います。

再送機能には「プライマリサーバへ再送」と「セカンダリサーバへ送信」の２つがあります。

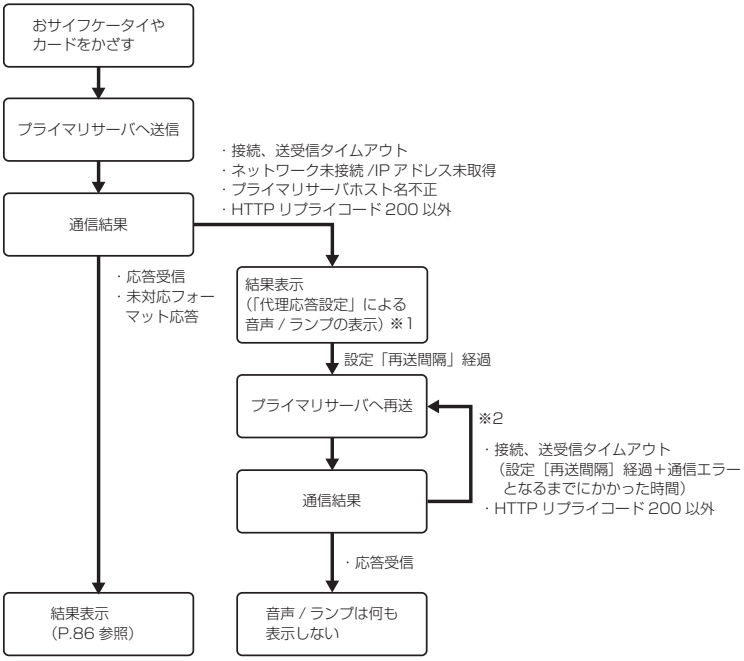
※「プライマリサーバへ再送」と「セカンダリサーバへ送信」は同時に使用することはできません。

※ ピットタッチサービス（簡易打刻･ネットワーク）では「セカンダリサーバへ送信」は使用できません。

■プライマリサーバへ再送

プライマリサーバと通信ができなかった場合に、再度プライマリサーバへ送信する機能です。

設定するには「サーバ通信設定」の「再送機能」で「再送」を「プライマリサーバへ再送」に選択します。



※ 1 「サーバ通信（拡張）」の「代理応答」で設定を行います。音声は、そのときの本製品のステータス（ステータス 1 ～ 4、拡張ステータス 1 ～ 4）によって鳴らす音声を変えることができます。

※ 2 再送すべきデータがある場合は、定期的に古いデータから順に再送を行います。再送は「通信にかかる時間＋再送間隔」ごとに行われます。

※　再送待ちのデータは、検出ログから確認できます。〈P.62 〉

MEMO

以下の操作を行うと、それ以降の再起動で、検出ログは消去されます。
・モードの変更〈P.56 〉
・［サーバ通信］の下記設定の変更（変更するとダイアログが表示されます）
　・［サーバ設定］の「プライマリサーバ URL」※ 1
　・［送信パラメータ設定］の「送信メソッド」※ 1
　・［送信パラメータ設定］の「フォーマット」※ 1
　・［送信パラメータ設定］の「値 1」※ 1
　・［送信パラメータ設定］の「値 2」※ 1
・［再送設定］の「再送機能」※ 2
※ 1 サーバアクセスモードで設定可能
※ 2 サーバアクセスモード、ピットタッチサービス（簡易打刻）モード、ピットタッチサービス（ネットワーク）モードで設定可能
・オプションブロックに関する設定・ファイルを変更した場合（変更するとダイアログが表示されます）
・オプションブロック定義ファイルを登録
・オプションブロック定義ファイルを削除
・［設定管理］「工場出荷時に戻す」の操作
・［設定管理］「ファイルから設定」の操作
・メインテナンス起動時のステータスボタンによる設定初期化

MEMO

再送待ちログがある場合は、ステータスランプ以外の 3 つのランプが点滅します。〈P.72 〉

MEMO

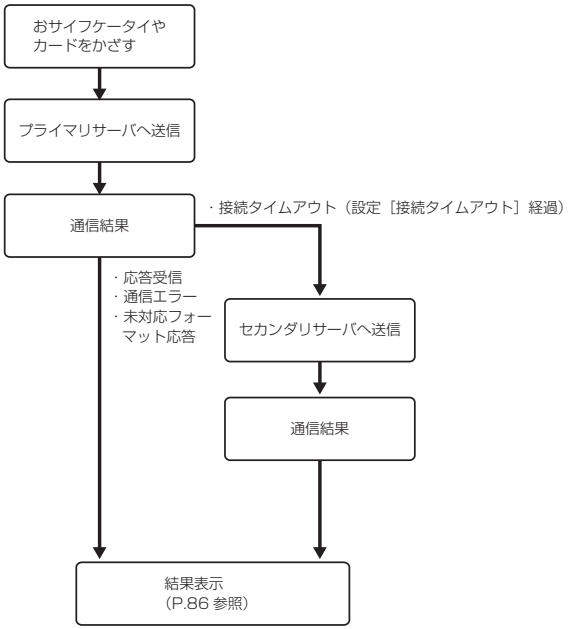
再送待ち検出ログがある場合、検出ログは自動的に削除されません。
再送待ちログが蓄積され、それ以上ログの保存ができない状態になると、本製品はおサイフケータイなどがかざされてもエラー表示となります（サーバ通信も行いません）。
ステータスランプ以外の 3 つのランプが赤色で点滅します。
設定・ネットワーク設定を確認してください。正しく通信できる状態になると、再送されるようになります。蓄積された再送待ちログが、再送されて減少すると、運用が可能な状態になります。
または、検出ログを保存後、すべて消去してください。

■セカンダリサーバへ送信

プライバリサーバと通信ができなかった場合に別のセカンダリサーバへ送信する機能です。

設定するには、「サーバ通信設定」の「再送機能」で「再送」を「セカンダリサーバへ送信」に選択します。

※ プロキシサーバの設定をしている場合はセカンダリサーバは利用できません。



※ セカンダリサーバへの送信が失敗した場合は、再送は行われません。

また、プライマリサーバとの通信に失敗した後でも、新たにおサイフケータイやカードをかざされた場合は、上の図に従いプライマリサーバへの送信を行います。

■結果表示

サーバからの応答と設定によって、結果表示は変わります。

※ プライマリサーバへの再送では結果表示しません。〈P.83 〉

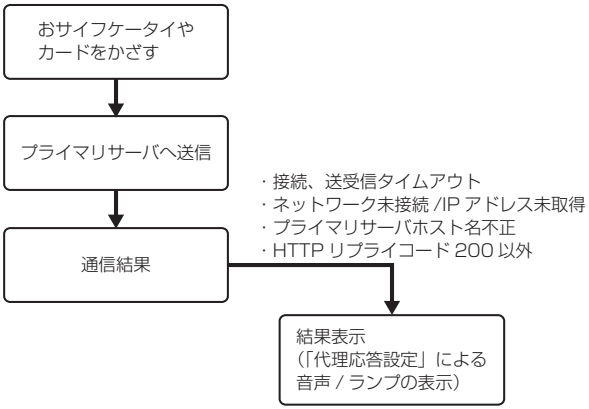
かざしたあとのサーバ通信の応答		結果表示
成功応答（おサイフケータイへの機能実行成功、または機能実行をしない）		サーバの応答内容に従って音声 / ランプを表示します。
成功応答（機能実行失敗）		「基本設定」の「結果表示設定」の「失敗:音声」「失敗：ランプ」に従って表示します。
失敗応答		サーバの応答内容に従って音声 / ランプを表示します。
未対応フォーマット応答	「サーバ通信設定（拡張）」の「サーバ設定」「未対応フォーマット応答受信」を「結果表示設定に従う」に設定	「基本設定」の「結果表示設定」の「失敗:音声」「失敗：ランプ」に従って表示します。
	「サーバ通信設定（拡張）」の「サーバ設定」「未対応フォーマット応答受信」を「代理応答設定に従う」に設定	「サーバ通信設定（拡張）」の「代理応答」に従います。音声は本製品のステータス（ステータス 1 ～ 4、拡張ステータス 1 ～ 4）に応じて鳴ります。
通信エラー	「再送機能」を「再送なし」に設定	「基本設定」の「結果表示設定」の「失敗:音声」「失敗：ランプ」に従って表示します。
	「再送機能」を「セカンダリサーバへ送信」に設定	
	「再送機能」を「プライマリサーバへ再送」に設定	「サーバ通信設定（拡張）」の「代理応答」に従います。音声は本製品のステータス（ステータス 1 ～ 4、拡張ステータス 1 ～ 4）に応じて鳴ります。
接続タイムアウト	「再送機能」を「再送なし」に設定	「基本設定」の「結果表示設定」の「失敗:音声」「失敗：ランプ」に従って表示します。
	「再送機能」を「セカンダリサーバへ送信」に設定	プライマリサーバとの通信の場合は、結果表示を行わずセカンダリサーバとの通信を行います。 セカンダリサーバとの通信の場合は、「基本設定」の「結果表示設定」の「失敗:音声」「失敗:ランプ」に従って表示します。
	「再送機能」を「プライマリサーバへ再送」に設定	「サーバ通信設定（拡張）」の「代理応答」に従います。音声は本製品のステータス（ステータス 1 ～ 4、拡張ステータス 1 ～ 4）に応じて鳴ります。

5-3 代理応答について

「サーバアクセスモード」では、サーバから未対応フォーマットの応答を受け取った場合に、ユーザに対して音声を鳴らしたり、ランプの表示を行うことができます。これを「代理応答」と言います。

サーバへステータスの状況は送信するが、応答内容は利用しない場合などに便利です。

設定するには「サーバ通信設定」の「再送機能」で「再送なし」を選択します。



5-4 トラブルシュート

最新の FAQ をピットタッチのホームページに掲載しています。
本章の内容で解決しない場合は、ピットタッチのホームページも確認してください。

■本体のトラブル

● 起動しない

→DIP スイッチの設定によってはステータスランプが点灯しない場合や音声が再生しない場合があります。〈P.76 〉

→本製品の電源が入っているかランプを確認してください。〈P.71 〉

→本製品の電源を入れ直してください。

→故障の恐れがあります。お手数ですが、本製品をお買い求めになった販売元へご連絡をお願いします。

● ステータス切り替えボタンを押してもステータスランプが切り替わらない

→DIP スイッチ 1 が OFF で通常起動になっていることを確認してください。

→DIP スイッチ 2 が ON の場合、ランプは点灯しません。

→ケータイアクセスモードの場合は、ステータスランプが切り替わりません。

→使用できるランプを 1 つに設定した場合は、ステータスランプは切り替わりません（拡張ステータスには切り替わります）。

→故障の恐れがあります。お手数ですが、本製品をお買い求めになった販売元へご連絡をお願いします。

■ランプのトラブル

● ステータスランプが点灯しない

→AC アダプタの接続を確認してください。AC アダプタはコンセントと本製品に正しく差し込まれていますか？〈P.16 〉

→電源を入れ直して 10 秒程度待ってください。

→本製品付属の AC アダプタを使用していますか？〈取扱説明書 P.6〉
AC アダプタは本製品付属のものをお使いください。付属品以外をご使用になると、故障の原因となることがあります。

→本体底面の DIP スイッチ 2 が ON の場合はステータスランプが点灯・点滅しません。DIP スイッチを OFF にしてください。DIP スイッチの変更は必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。起動時に有効になります。〈P.76 〉

● ステータス 4 のランプのみが点滅をする

→メインテナンス起動で起動しています。本製品の電源を切り、本体底面の DIP スイッチ 1 を OFF にして、再度電源を入れてください。〈P.76 〉

● すべてのランプが赤色点滅する

→工場出荷時、設定が行われていないときは、すべてのランプが赤色点滅します。設定を行ってください。

→電源を入れ直してください。

→本製品を初期化してください。メインテナンス起動で起動し、ステータス切り替えボタンを設定初期化音「ピー」が鳴るまで（約 5 秒）押してください。設定・ログ・検出ログが消去され工場出荷時の状態になります。〈P.78 〉
ただし、すべての設定が初期化されてしまいますので、再度必要な設定を行ってください。〈P.15 〉

→故障の恐れがあります。お手数ですが、本製品をお買い求めになった販売元へご連絡をお願いします。

● すべてのランプが緑色で点滅する

→ファームウェア更新・初期化など本体を更新しているとき、または音声更新・削除、オプションブロック定義ファイル更新・削除をしているときは、すべてのランプが緑色で点滅します。故障ではありません。

→起動時に緑色で点滅する場合は、点滅が終了するまでお待ちください。点滅が終了したら、再度電源を投入してください。それでも起動時に緑色で点滅する場合は、お手数ですが、本製品をお買い求めになった販売元へご連絡をお願いします。

→起動時に緑色で点滅し、点滅が止まらない場合は、故障の恐れがあります。お手数ですが、本製品をお買い求めになった販売元へご連絡をお願いします。

● 電源を入れるとステータス 1 とステータス 4 のランプが緑色もしくは赤色で点滅する

→DIP スイッチをすべて OFF に設定し、ステータス切り替えボタンを押さないで電源を入れ直してください。

→故障の恐れがあります。お手数ですが、本製品をお買い求めになった販売元へご連絡をお願いします。

● ステータスランプが赤色で点灯または点滅する

→「通信できない」を参照してください。〈P.92 〉

●ステータスランプが点灯→その他 3 つのランプが点滅を繰り返す

→ステータスランプと、その他 3 つのランプ、それぞれの色によって状況が異なります。

ステータスランプ	緑色	ネットワーク通信可能です。
	赤色	ネットワーク通信不可能です。 ケーブルや、LAN ポート設定、サーバ通信設定を確認してください。

その他 3 つのランプ	消灯	再送待ちログがない状態です。
	緑色点滅	再送待ちログがある状態です。 ケーブルや、LAN ポート設定、サーバ通信設定を確認してください。 サーバと通信できる状態になると再送されます。すべての再送が終了すると消灯します。
	赤色点滅	再送待ちログがいっぱいの状態です。 非接触 IC をかざしてもエラーとなります。 ケーブルや、LAN ポート設定、サーバ通信設定を確認してください。 サーバ通信できる状態になると再送を行います。再送の成功により再送待ちログが減ると緑色点滅に変わります（非接触 IC をかざせるようになります）。さらに全ての再送が終了すると消灯します。 また、検出ログを消去しても非接触 IC をかざせるようになりますが、消去した再送待ち検出ログは再送されません。事前に検出ログを保存してください。

■音声のトラブル

● 音が鳴らない

→本製品の電源が入っているか確認してください。〈P.71 〉

→音声の設定を確認してください。〈P.76 〉

→本体底面の DIP スイッチ 3 が ON の場合は音が鳴りません。DIP スイッチの変更は必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。起動時に有効になります。〈P.76 〉

→音声ファイルを書き込み中または削除中に電源を切ると、すべてのユーザ設定音声データが壊れる可能性があります。この場合、次に起動したときには、すべてのランプが緑色で点滅し、ユーザ設定音声が初期化されます。

→ユーザ設定音声については以下のアプリケーションで作成した音声が鳴ることを確認しています。

・GoldWave (ver.5)
・Windows サウンドレコーダ (ver.5)

● 音声ファイルの書き込み / 削除に失敗する

→音声ファイルは正しいですか？書き込みできる音声フォーマットかどうかを確認してください。〈P.68 〉

→音声ファイルの保存容量が不足している可能性があります。設定ページに表示されている残り容量と、音声ファイルのサイズを確認してください。

→音声ファイルを書き込み中または削除中に電源を切ると、すべてのユーザ設定音声データが壊れる可能性があります。この場合、次に起動したときには、すべてのランプが緑色で点滅し、ユーザ設定音声が初期化されます。

→本製品に標準で用意されている音声ファイルをご利用ください。

→ユーザ設定音を更新し直してください。

● ユーザ設定音を削除してしまった

→ピットタッチのホームページからダウンロードしてください。

■設定ページ関連のトラブル

● 設定マニュアル（本書）の記載通りに操作ができない

→JavaScript を有効にしてください。

● 設定ページを開けない

→本製品とパソコンが LAN ケーブルで正しく接続されているか確認してください。〈P.1〉

→パソコンの IP アドレスを確認してください。本製品の工場出荷時の IP アドレスは、「192.168.1.2」です。パソコン側の IP アドレスが自動取得の設定か、「192.168.1.xxx」以外の設定の場合、設定ページを開けません。
パソコンの IP アドレスを変更してから、Web ブラウザでもう一度設定ページを開いてください。〈P.15 〉

● 設定が有効にならない

→内容を変更したら、「設定」ボタンをクリックした後、「再起動」をしてください。「設定」ボタンをクリックしないと設定が保存されません。「再起動」ボタンをクリックしないと設定が有効になりません。

● 設定ページにログインできない

→ユーザ名、パスワードが正しく入力されているかを確認してください。〈P.17 〉

→どうしてもログインできない場合は、本製品を初期化してください。メインテナンス起動で起動し、ステータス切り替えボタンを初期化音「ピー」が鳴るまで（約５秒）押してください。設定・ログ・検出ログが消去され工場出荷時の状態になります。〈P.81 〉

ただし、すべての設定が初期化されてしまいますので、再度必要な設定を行ってください。〈P.15 〉

● パスワードを忘れた

→パスワードを忘れて設定ページを開けない場合は、本製品を初期化してください。メインテナンス起動で起動し、ステータス切り替えボタンを初期化音「ピー」が鳴るまで（約５秒）押してください。設定・ログが消去され工場出荷時の状態になります。〈P.78 〉

ただし、すべての設定が初期化されてしまいますので、再度必要な設定を行ってください。〈P.15 〉

■通信のトラブル

● 通信できない / ステータスランプが赤色で点灯または点滅する

→背面の LAN ポートの緑色のランプが点灯していますか？〈取扱説明書 P.8〉

→ネットワーク設定〈P.51 〉、サーバ設定・プロキシ設定〈P.41 〉を確認してください。

→ログを確認してください。

● SSL サーバ (https://…) と通信できない

→LAN ポート設定〈P.51 〉、サーバ設定・プロキシ設定〈P.41 〉を確認してください。

● セカンダリサーバに接続しない

→セカンダリサーバの設定が正しいかを確認してください。

→プロキシサーバの設定をしている場合はセカンダリサーバは利用できません。

→プライマリサーバに正しく接続できたあと、「ページが見つからない」などのエラーとなった場合は、セカンダリサーバには接続せず、エラーとなります。エラーの詳細はログを確認してください。

■非接触 IC 通信関連

●非接触 IC をかざしても反応しない

→メインテナンス起動で起動していませんか？
メインテナンス起動〈P.81 〉では、非接触 IC の読み出しできません。ステータスランプを確認してメインテナンス起動である場合は、通常起動にしてください。

→非接触 IC カード、おサイフケータイが、対応機種かどうか、当社ホームページでご確認ください。

→［基本設定］の［検出タイプ］の設定を確認してください。〈P.36 〉

→［基本設定］の［結果表示設定］を確認してください。〈P.37 〉

→サーバからの応答によっては音声 / ランプの表示などがない場合があります。

→おサイフケータイの場合は、携帯電話の IC カードロックの設定を確認してください。ロックが ON になっていると、本製品にかざしても検出されません。お使いのおサイフケータイの取扱説明書を確認してください。

→非接触 IC 読み取り部に障害物はありませんか？
障害物を取り除いてください。

→近くに別の非接触 IC リーダー / ライターはありませんか？
誤動作する可能性があります。離してご使用ください。

→おサイフケータイの電源を一度切ってから入れ直してください。

→おサイフケータイのバッテリーを一度外してから再度電源を入れ直してください。

●非接触 IC の読み出しに失敗する

→非接触 IC 読み取り部に障害物はありませんか？
障害物を取り除いてください。

→オプションブロック定義を使用している場合は、「オプションブロック利用マニュアル」を確認してください。

→オプションブロック定義を使用していない場合は、［基本設定］の［カード検出動作］の設定を確認してください（サーバアクセスモード）。〈P.36 〉

→［基本設定］（サーバアクセスモード）が以下の設定の場合は、検出しても何も表示しません。ただし、検出ログには保存されます。
・［カード検出動作］の設定が「結果表示のみ」
・［カード検出：音声］の設定が［なし］
・［カード検出：ランプ］の設定が［なし］

→非接触 IC カード、おサイフケータイが、対応機種かどうか、当社ホームページでご確認ください。

→再送待ち検出ログが蓄積されていないか確認してください。〈P.84 〉

● MIFARE カードの読み出しに失敗する

→対応しているのは「サーバアクセスモード」「ピットタッチサービス（簡易打刻）モード」「ピットタッチサービス（ネットワーク）モード」の 3 つのモードです。

→［基本設定］の［検出タイプ］の設定を確認してください。〈P.36 〉

→［基本設定］の［カード検出動作］の設定を確認してください（サーバアクセスモード）。〈P.36 〉

→再送待ち検出ログが蓄積されていないか確認してください。〈P.84 〉

● FeliCa カード、おサイフケータイの読み出しに失敗する

→［基本設定］の［検出タイプ］の設定を確認してください。〈P.36 〉

→［基本設定］の［システムコード］の設定を確認してください。〈P.36 〉

→［基本設定］の［カード検出動作］の設定を確認してください。〈P.36 〉

→再送待ち検出ログが蓄積されていないか確認してください。〈P.84 〉

● Type B カードの読み出しに失敗する

→対応しているのは「サーバアクセスモード」です。

→［基本設定］の［検出タイプ］の設定を確認してください。〈P.36 〉

→eLWISE .Com-ID のみ対応しています。

→再送待ち検出ログが蓄積されていないか確認してください。〈P.84 〉

●おサイフケータイの読み出し、機能の実行に失敗する

→対応機種ではない可能性があります。対応機種については当社ホームページを確認してください。
対応機種については当社ホームページ FAQ を参照してください。

→［基本設定］の［検出タイプ］の設定を確認してください。〈P.36 〉

→［基本設定］の［システムコード］の設定を確認してください。〈P.36 〉

→［基本設定］の［カード検出動作］の設定を確認してください。〈P.36 〉

→携帯電話はおサイフケータイですか？確認してください。

→おサイフケータイの場合は、携帯電話の FeliCa マークの位置を確認してください。他の部分を本製品にかざしても、正しく検出されません。お使いのおサイフケータイの取扱説明書を確認してください。

→おサイフケータイの場合は、携帯電話の IC カードロックの設定を確認してください。ロックが ON になっていると、本製品にかざしても検出されません。お使いのおサイフケータイの取扱説明書を確認してください。

→近くに別の非接触 IC リーダー / ライターはありませんか？
誤動作する可能性があります。離してご使用ください。

→おサイフケータイの電源を一度切ってから入れ直してください。

→おサイフケータイのバッテリーを一度外してから電源を入れ直してください。

■パソコンに関すること

● 本製品を設定後、インターネットに接続できなくなった

→本製品の設定ページを開くために、パソコンの IP アドレスを変更した場合は、そのままではインターネットに接続できません。もとの設定に戻す必要があります。必要な設定は、インターネットプロバイダから配付されている資料をご覧ください。

■ファームウェアに関すること

● ファームウェアを更新できない

→正しいファームウェアファイルを選択しているか、ファームウェアファイル名を確認してください。〈P.79 〉

→ファームウェアファイルを入手し直してください。ファームウェアの入手については、お買い求めになった販売元へお問い合わせください。

■トルカ /au ケータイクーポンについて

● トルカについて知りたい

→NTT ドコモの技術情報をご覧ください。（2014/1 現在）
https://www.nttdocomo.co.jp/service/developer/make/content/toruca/index.html

● au ケータイクーポンについて知りたい

→KDDI の技術情報をご覧ください。（2014/1 現在）
http://www.au.kddi.com/ezfactory/tec/spec/keitai_coupon/index.html

5-5 用語集

■ FeliCa

「FeliCa」は、ソニー株式会社が開発した非接触 IC カードの技術方式です。
FeliCa は、次のような特徴を持っています。
・強固な通信セキュリティ
・1 枚のカードに複数のアプリケーションを搭載可能
・高速なデータ処理

■ MIFARE

「MIFARE」は NXP セミコンダクターズの登録商標で近接型非接触 IC カードの国際規格 ISO14443 Type A に準拠したカードです。MIFARE の中でもいくつかの種類がありますが、本製品では MIFARE Standard 1k/4k, MIFARE UltraLight のカードに対応しています。

■ eLWISE .Com-ID

eLWISE は NTT コミュニケーションズ株式会社の製品で、近接型非接触 IC カードの国際規格 ISO14443 Type B に準拠したカードです。
本製品ではサーバアクセスモードでの動作時、eLWISE カードの .Com-ID の読み出しに対応しています。

■おサイフケータイ

「おサイフケータイ」は、非接触式 IC カード技術「FeliCa」を内蔵した NTT ドコモ、au、SoftBank の携帯電話です。携帯電話を読み取り用の機器にかざすだけで、FeliCa の機能を実行できます。

■ NTP サーバ（Network Time Protocol サーバ）

「NTP サーバ」とは、ネットワーク経由で、コンピュータの内部時計を調整するプロトコルを使用して、正しい時刻を取得するサーバです。
本製品がこのサーバを参照することで、本製品の時刻を正しい時刻に合わせることができます。

■ HTTP 認証

Web サーバによっては、アクセス時にユーザ ID とパスワードによる認証を必要とするものがあります。

本製品の設定ページも HTTP 認証を用いており、工場出荷時はユーザ ID「admin」、設定パスワード「default」の入力を必要とします。設定パスワードを「default」以外の値に変更するまでは初期設定画面以外のページを利用できません。通信する Web サーバが HTTP 認証を必要とする場合、「サーバ設定」画面で設定を行うことができます。サーバの仕様にあわせて設定してください。

■プロキシ (Proxy)

Web サーバへアクセスする際に、HTTP 接続を中継するサーバです。直接 Web サーバにアクセスできない（もしくは直接アクセスしない）場合に、プロキシを経由して接続できます。プロキシを必要とする場合、「サーバ設定」でプロキシ設定を行うことができます。環境に応じて設定してください。

■ SSL 通信 (Secure Socket Layer)

インターネット上で暗号化通信、通信相手認証を実現するネットワークプロトコルです。Web サーバと SSL 通信を必要とする場合、「サーバ設定」で設定を行うことができます。環境に応じて設定してください。

■ファームウェア

ROM やフラッシュメモリ上に搭載され、ハードウェアの基本的な制御を行うために機器に組み込まれたソフトウェアです。

本製品の制御もファームウェアにより行われています。機能追加などは、ファームウェアの更新により実施されることがあります。

5-6 使用しているソフトウェアについて

本製品ソフトウェアの SSL 機能は OpenSSL プロジェクトのオープンソースである OpenSSL Toolkit をベースとしています。

```
/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
 * All rights reserved.
 *
 * This package is an SSL implementation written
 * by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
 * The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.
 *
 * This library is free for commercial and non-commercial use as long as
 * the following conditions are aheared to.  The following conditions
 * apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,
 * lhash, DES, etc., code; not just the SSL code.  The SSL documentation
 * included with this distribution is covered by the same copyright terms
 * except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
 *
 * Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in
 * the code are not to be removed.
 * If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution
 * as the author of the parts of the library used.
 * This can be in the form of a textual message at program startup or
 * in documentation (online or textual) provided with the package.
 *
 * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
 * modification, are permitted provided that the following conditions
 * are met:
 * 1. Redistributions of source code must retain the copyright
 *    notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
 *    notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
 *    documentation and/or other materials provided with the distribution.
 * 3. All advertising materials mentioning features or use of this software
 *    must display the following acknowledgement:
 *    "This product includes cryptographic software written by
 *     Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
 *    The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library
 *    being used are not cryptographic related :-).
 * 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from
 *    the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
 *    "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"
 *
 * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND
 * ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
 * IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
 * ARE DISCLAIMED.  IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
 * FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
 * DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
 * OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
 * HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
 * LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
 * OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
 * SUCH DAMAGE.
 *
 * The licence and distribution terms for any publically available version or
 * derivative of this code cannot be changed.  i.e. this code cannot simply be
 * copied and put under another distribution licence
 * [including the GNU Public Licence.]
 *//
```

```
* ====================================================================
* Copyright (c) 1998-2001 The OpenSSL Project.  All rights reserved.
*
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without
* modification, are permitted provided that the following conditions
* are met:
*
* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
*    notice, this list of conditions and the following disclaimer.
*
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
*    notice, this list of conditions and the following disclaimer in
*    the documentation and/or other materials provided with the
*    distribution.
*
* 3. All advertising materials mentioning features or use of this
*    software must display the following acknowledgment:
*    "This product includes software developed by the OpenSSL Project
*    for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
*
* 4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to
*    endorse or promote products derived from this software without
*    prior written permission. For written permission, please contact
*    openssl-core@openssl.org.
*
* 5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL"
*    nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written
*    permission of the OpenSSL Project.
*
* 6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following
*    acknowledgment:
*    "This product includes software developed by the OpenSSL Project
*    for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY
* EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR
* PURPOSE ARE DISCLAIMED.  IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR
* ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,
* SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT
* NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
* LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT,
* STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)
* ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED
* OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
* ====================================================================
* * This product includes cryptographic software written by Eric Young
* (eay@cryptsoft.com).  This product includes software written by Tim
* Hudson (tjh@cryptsoft.com).
*
*/
```

ピットタッチ・ビズ設定マニュアル

発行日：2014 年 3 月　第 3 版
発　行：株式会社ビー・ユー・ジー SST
〒 162-0822　東京都新宿区下宮比町 2-1　第一勧銀稲垣ビル 2F